

			利用者の主な日中サービスについて ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
1	鎌ヶ谷市（ソーシャルインクルーホーム鎌ヶ谷東初富）	10名	① 学習支援・買い物支援（同行・代行）・運動支援・入浴支援・金銭管理支援・通院等介助（定期受診・突発受診）・移動支援（就労先送迎）・昼食の提供・レクレーション・季節のイベント余暇活動・訪問サービスの利用（医療・歯科・理容・看護・薬局） ② 生活介護事業所・就労支援B型事業所・就労支援センター ・友和園・いんば学舎・ぱるびと・みのり・マルエツなど ③ 8人	引き続き適正な運営に努めてもらいたい	① ご家族様の来訪は積極的にうけております。事情がありご来訪いただけないご家族様には電話やメールにて近状報告を実施しております。地域との関りについては外出や散歩の際に近隣の方に進んで挨拶をするように声掛けしております。 ② 現在、受け入れはできておりません。千葉エリア内で受け入れ体制について協議をした後、順次行っていければと思っています。 ③ 実 習 生：0人 ボランティア：0人	引き続き適正な運営に努めてもらいたい	実習生・ボランティアを受け入れる際、施設側に留意して欲しいことがあれば、伺いたいです。	実習生については、利用者の個人情報取り扱いについて学校側から誓約書への記載を促せるが、ボランティアについては、施設側で誓約書への記載を配慮してほしい
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 職員と一緒に池まで散歩をしたり福祉祭り、外食に行ったりしています。買い物では近隣のドラッグストア、書店、スーパーに行き商品を選んでいただきセルフレジの活用や支払いを行っていたなど個々の利用者様に合わせて支援を行っております。 ② 現在満室の為、対応しておりませんが空室が出た際は6泊7日まで無料にて体験のご利用をしていただけます。一例として、ご家庭の事情によりご自宅にて生活されていた方がGHの入居を見据えての体験利用、長期入院されていた方が住み慣れた地域での暮らしを希望されての体験利用等などがございます。	引き続き適正な運営に努めてもらいたい	① ご入所様が男性のみのため、男性の受け入れを積極的に行っております。 ② 空き状況にもよりますが、積極的に受け入れを行っております。一例として、ご家族の事故による緊急受入に対応させていただきました。	可能な限り重度障がい者のための支援体制の整備に努めてもらいたい		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 日中、土日においても規定人員配置しております。	前年度指摘した男性職員の採用について、日勤3名、夜勤1名の非常勤職員の採用を行い、支援体制の確保に努めたと評価する。しかし入浴介助は女性が行う時間帯もあるようなので、引き続き常時同性介助が可能な体制づくりに努めてもらいたい	相談支援事業所とは随時連絡が取れる体制であり、障害特性による対応方法の相談等をさせていただいております。ホームからはご本人様の状況や変化などその都度ご報告させていただいております。日中活動を利用されている方は連絡帳を活用したり、お電話で体調・通院・服薬などの情報共有をおこなっております。	引き続き適正な運営に努めてもらいたい		

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

			利用者の主な日中サービスについて ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
			事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
2	市川市（Beans本八幡）	15人	① ② ③ 1人	仕事や通所先がない利用者についても、地域へ出での清掃活動などの機会の提供や、買い物支援などを実施していると聞いています。これからも入居者の生活の広がり意識した個別の活動を検討、提供していただければと思います。	①自治会長、民生委員(大芝原自治会)方に開設の際にご挨拶をしております。 ②今後、ボランティアの受け入れを予定しております。 ③実 習 生：0人 ボランティア：0人	○地域との交流は今後も続けていただければと思います。 ○ボランティアの受け入れも検討されているとのことですので、ボランティアや研修などを積極的に受け入れ（利用者の個人情報への配慮はしていただき）、風通しの良いグループホーム作りを今後もお願いしたいです。	①利用者の個別支援計画の内容は適切か。 ○添付資料をご確認ください。 ②市川市自立支援協議会及び各部会にご出席の際は、実際に事業所（グループホーム）に勤務している方のご出席をお願いします（サービス管理責任者等）。 ○常勤配置の管理者が参加させていただきます。 ③可能であれば、事業所（グループホーム）における 事業の実施状況を実際に現地で確認させていただきます。 ○随時の見学をお受けしております。 ④社会福祉法第82条に基づきサービスに係る苦情を適切に解決するため第三者委員を置く場合、市川市自立支援協議会の構成メンバー等を選任することは可能か教えてください。 ○可能です。よろしく願いたします。 ⑤ 管理者や従業者に対する研修の実施状況について教えてください（回数、内容等） ○5月20～23日の4日間で初期研修を行いました。今後半年に一回の社員研修を予定しております。（ドクター、サービス管理責任者、市川市グループホーム支援ワーカー様を講師として開催しました。） ⑥ 市川市では、面的な体制として整備する方向で、地域生活支援拠点等の整備を進めています。この趣旨をご理解いただき、面的な体制の一部として、地域の障がい者の重度化・高齢化や親亡き後を見据えた支援体制づくりに、可能な限りにおいてご協力いただけますか。 ○はい、ご協力をさせていただきます。病院からの地域移行対象者を積極的に受け入れて参ります。	
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①生活物品や家具の購入に同行し、一人での外出が難しい方にも外出の機会を作るようにしております。 ②すべての本入居希望の方に、事前の体験利用をお願いしています。	○利用者の状況や希望に合わせて、買い物同行や外出支援等を行っている聞いています。グループホーム内での生活だけではなく、外とのつながりや地域生活を意識していたグループホームの姿勢と感じますので、今後も継続していただければと思います。 ○病院からの退院支援や、触法の方などの支援にも積極的に協力していると聞いています。こういった状況の方はグループホーム利用を検討する際に、長期間の調整が必要となり、通常のグループホームだと利用に至れないケースもありますが、そういった事情にも理解があり、利用者も支援者も安心して相談できている様子が見受けられます。今後も継続していただければと思います。 ○すべての職員が一度は本人に関わるようにしているとのことで、今後も続けていただければと思います。	① ②6月に短期入所の受け入れを予定しております。	○緊急時の相談も複数件受けていると聞いています。緊急時に信頼できる短期入所先が地域の中にあることは、当事者の方にとっても、支援者にとっても大変心強いことと思います。また、その際の外部機関との連携もスムーズに行こなわれていると聞いています。連携を大切に、今後も引き続き短期入所のご相談も受けいただければと思います。 ○ワンルームという部屋の特性を生かして、一人暮らし体験としても短期入所の利用相談もさせていただければと思います。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			24時間職員を配置しております。		市川市の2つの相談支援事業所や(サンワーク様、心ほっと様)病院のSW様と主に連携をとっています。	○地域の相談支援事業所や、病院のソーシャルワーカーとの連携を常に行っていると聞いています。今後も様々な地域の機関や病院との連携を進めていただき、連携の裾野を広げていただければと思います。		

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

		利用者の主な日中サービスについて ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。		その他				
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会		
3	市川市（ピーハック日中支援型障がい者グループホーム市川奉免町）	19人	① 日中に常時スタッフを配置しておりますので、昼食提供、居室清掃、洗濯支援、入浴介助、排泄介助の他、機能維持のためリハビリ歩行・散歩、塗り絵などのレクを実施しております。 ② 生活介護 17人 ③ 17人	●GH回答 ◎協議会要望・助言・評価 第1回評価（令和5年7月11日） ◎協議会要望・助言・評価 ◎日中もGH内で過ごす場合、「利用者が望むから」との理由で一日中部屋にひきこもるケースがあると、よく聞きます。できれば、得意なことややってみたいことなどを共にやってみる等、創意工夫をお願いしたい。 ◎人手が大変だと思いますが、入浴などはご本人の要望に添えて欲しい。 ◎地域とつながるため、外部の日中活動サービス利用を、できるだけ継続・促進して欲しい。 第2回評価（12/14ヒアリング） ●GH回答 ◎協議会要望・助言・評価 ●利用者の希望に合わせてサービスを提供している。現在日中活動者は1名のみで、多くが市内および市外に生活介護を利用しているとのこと。 ●入浴頻度は原則週3回以上としている。見守りレベルの方なら週6～7回、入浴拒否傾向の方も週2回は入浴できるように促しているとのこと。 ◎入浴頻度については、可能な限り毎日入浴できる体制を整えていただきたい。	① ユニットごとに日中（土日を含む）は2～3名のスタッフを配置。夜間はユニットごと1～2名のスタッフを配置しております。 ●GH回答 ◎協議会要望・助言・評価 第1回評価（令和5年7月11日） ○人員配置は守られていると思うが、やはりスタッフの少なさを感じます。特に夜間においての緊急対応をどうしているか？家族が対応することが困難なことが想像できるため、個別に連絡先フローなどを作成し対応して欲しい。 ○相談員や通所先からGHに連絡しても、つながらないケースが多い。管理者やサビ管に常に連絡がとれる体制を整えて欲しい。 ○開所以来、管理者やサビ管が代わっている。管理者やサビ管が代わったことの連絡が不十分。管理者やサビ管は基本的には、あまり代わって欲しくない。また、スタッフも入れ替わりが多いような気がする。 ○とても一生懸命働いてくれる外国の方には感謝。 ○家賃助成などの必要な申請をしっかりと欲しい。 ○管理者やサビ管にお願いしたことが、その他スタッフに伝わっていないことがある。 ○通院同行など、よく対応していただいている。 ○避難訓練はやっているのでしょうか？ ○BCPは整っているのでしょうか？ 第2回評価（12/14ヒアリング） ●管理者・サビ管が支援中の際は電話に出ることは出来ないが、常時電話を携帯しており、折り返すように心がけている。 ●スタッフの入れ代わりがあることはある。新入スタッフが1か月で退職することが多く、定着が課題。 ●行政等の手続き支援を見直し、漏れがないようにしている。 ●夜間緊急時には、支援員が管理者・サビ管に連絡し支持を仰ぐよう連絡体制を整えている。 ●避難訓練は定期的に実施している。 ●BCPは法人で第1版を作成済み、随時更新する予定。 ◎スタッフの人材確保、育成は大変かと思いますが、どうぞ管理者の方を中心に支援の質の向上、利用者にとって安心安全な支援体制の確保をお願いします。 ◎健全なサービス提供を継続するため、管理者、サビ管を含めた職員の健康管理、メンタルヘルスの十分なケアをお願いいたします。	●GH回答 ◎協議会要望・助言・評価 第1回評価（令和5年7月11日） ○人員配置は守られていると思うが、やはりスタッフの少なさを感じます。特に夜間においての緊急対応をどうしているか？家族が対応することが困難なことが想像できるため、個別に連絡先フローなどを作成し対応して欲しい。 ○相談員や通所先からGHに連絡しても、つながらないケースが多い。管理者やサビ管に常に連絡がとれる体制を整えて欲しい。 ○開所以来、管理者やサビ管が代わっている。管理者やサビ管が代わったことの連絡が不十分。管理者やサビ管は基本的には、あまり代わって欲しくない。また、スタッフも入れ替わりが多いような気がする。 ○とても一生懸命働いてくれる外国の方には感謝。 ○家賃助成などの必要な申請をしっかりと欲しい。 ○管理者やサビ管にお願いしたことが、その他スタッフに伝わっていないことがある。 ○通院同行など、よく対応していただいている。 ○避難訓練はやっているのでしょうか？ ○BCPは整っているのでしょうか？ 第2回評価（12/14ヒアリング） ●管理者・サビ管が支援中の際は電話に出ることは出来ないが、常時電話を携帯しており、折り返すように心がけている。 ●スタッフの入れ代わりがあることはある。新入スタッフが1か月で退職することが多く、定着が課題。 ●行政等の手続き支援を見直し、漏れがないようにしている。 ●夜間緊急時には、支援員が管理者・サビ管に連絡し支持を仰ぐよう連絡体制を整えている。 ●避難訓練は定期的に実施している。 ●BCPは法人で第1版を作成済み、随時更新する予定。 ◎スタッフの人材確保、育成は大変かと思いますが、どうぞ管理者の方を中心に支援の質の向上、利用者にとって安心安全な支援体制の確保をお願いします。 ◎健全なサービス提供を継続するため、管理者、サビ管を含めた職員の健康管理、メンタルヘルスの十分なケアをお願いいたします。	① 短期入所実績 1名 ② 強度行動障害により他のグループホームを退去しなければならなくなった方の受け入れを行ないました。	●GH回答 ◎協議会要望・助言・評価 第1回評価（令和5年7月11日） ○短期入所は、拠点等事業の上でも貴重な資源です。他の利用者さんにもいるため、大変だと思いますが、引き続き対応して欲しい。困った時に相談できる関係機関との連携をしっかりと整えて欲しい。 第2回評価（12/14ヒアリング） ●短期入所 事務室の隣に1部屋あり。 ●緊急時の依頼があれば、GH入居者に配慮しながら協力する。 ◎引き続き関係者と連携して、緊急時の短期入所の利用の協力をお願いします。	① 利用者の個別支援計画の内容は適切か。 ○ご提出いたします。 ② 市川市自立支援協議会及び各部会にご出席の際は、実際に事業所（グループホーム）に勤務している方のご出席をお願いします ○管理者が出席させていただきます。 ③ 可能であれば、事業所（グループホーム）における 事業の実施状況を実際に現地で確認させてください。 ○可能でございます。 ④ 社会福祉法第82条に基づきサービスに係る苦情を適切に解決するため第三者委員を置く場合、市川市自立支援協議会の構成メンバー等を選任することは可能か教えてください。 ○可能でございます。 ⑤管理者や従業者に対する研修の実施状況について教えてください（回数、内容等） ○ウェルビーラーニングを活用した年間の研修計画がございます （4月対人援助、 5月虐待防止 6月身体拘束廃止、7月BCP、8月感染症予防、9月精神疾患、10月服薬管理、11月ハラスメント 12月食中毒予防、1月人権擁護 2月障害福祉、3月コンプライアンスと個人情報保護） また、毎月一回のサービス管理者研修、適宜の救命救急研修などの他、施設単位での介護技術研修を月2回実施しております。 ⑥ 市川市では、面的な体制として整備する方向で、地域生活支援拠点等の整備を進めています。この趣旨をご理解いただき、面的な体制の一部として、地域の障がい者の重度化・高齢化や親亡き後を見据えた支援体制づくりに、可能な限りにおいてご協力いただけますか。（例：緊急時の短期入所利用の受入れ、病院や施設から地域生活へ移行するための地域生活の体験の機会の提供など） ○現在、積極的に各団体の連絡会・協議会へ参加させていただいており、近頃では市内親の会様との交流も盛んになってまいりました。今後も様々な支援団体様や機関との連携を進めて参りたい所存でございます。	●GH回答○協議会要望・助言・評価 ①第1回評価（令和5年7月11日） ○GHとして、しっかりモニタリングし、個別支援計画に反映することをお願いします。 第2回評価（12/14ヒアリング） ○引き続きモニタリングに基づいた評価、個別支援計画の見直しをお願いします。 ②第1回評価（令和5年7月11日）○引き続きお願いします。管理者、サビ管が定着するようお願いします。 第1回評価（令和5年7月11日） ○開設以来、様々な困難があったと思いますが、苦情あるいは苦情と思われる事実があったのではないのでしょうか。家族の声は、ご本人の声なき声を代弁してくれていると受け止める信頼関係もできてくるはずです。（親の言いなりという意味ではありません）ご本人を中心により良い暮らし・人生を歩めるよう、親も含めて努力していくしかないのだと思います。 ◎12/14 生活支援部会幹事・障がい者支援課担当者が訪問 ④○第三者委員を設置いただきたい。 ⑤第1回評価（令和5年7月11日） ○経験年数が少ない方について、支援力や介助スキル等向上していくには時間がかかると思いますが、リーダー層（サビ管）が、現場に入りながら、根気よく教えたり、職員を励ましたりして頑張ってください。 ○外国人スタッフの方は、日本語でとてもご苦労されると思いますが、日本人スタッフ同様の理解促進をお願いします。 第2回評価（12/14ヒアリング） ●スタッフミーティングを頻回に実施している。管理者を中心に介助スキル、支援スキル、障害理解を向上のための研修、指導を行っている。 ●いくつか苦情等をいただいています。 ●サービスの苦情があれば報告書を作成し、スタッフ間と共有し改善を図るなど、解決の仕組みを設置しています。◎管理者の方におかれましては、体調に留意して引き続きスタッフの支援力の向上に努めていただきますようお願いいたします。 ○法人としても、管理者へのフォローをお願いします。 ○現在、積極的に各団体の連絡会・協議会へ参加させていただいており、近頃では市内親の会様との交流も盛んになってまいりました。今後も様々な支援団体様や機関との連携を進めて参りたい所存でございます。		
			相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について									

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

			利用者の主な日中サービスについて ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
4	松戸市（あおば）	39人	①ドライブ、買い物、ウォーキング等 ②生活介護事業、就労継続支援B型事業 ③37人 ④外部の日中活動サービス等を利用していない方について 外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。 →該当なし	平日は入居者全員が外部の日中活動サービスを利用しており、外部のサービスと連携して充実を図られている点が評価できます。 不在時対応の職員数も充足しているように感じました。 また、ドライブや買い物等の行き先について、可能な範囲で選択肢が増えるとういかと思われます。	ご家族は常に来訪可能で、入居者の部屋への出入りは自由になっている。また、各住居はそれぞれ町内会に入会しており、ゴミ当番等を輪番で行っている。 ②GHでの実習は受けていないが、法人内の日中活動施設の実習生にGH見学をしてもらい、GHへの理解を深めてもらっている ③実 習 生：5人 ボランティア：0人	家族の出入りが自由であり、積極的な地域参画を行う等開かれたグループホームであると思われる。 地域の町内会に入会しゴミ当番等を担うなど、地域とのつながりを持った生活が送れるよう配慮されており評価できます。 地域活動については地域との交流が自然に行え、地域における障害啓発の点からも非常に大切ですので、継続して実施いただきたく思います。 居室の出入りは自由とありますが、たとえご家族であっても不在の場合にはあらかじめご本人の許可が必要と思われるので、家族が来所された際の過ごし方についてご留意いただけるとより良いかと思います。 平日は全員が日中外部サービスを利用されているため、実習生の受け入れが難しいと思われますが、同法人内の実習生向けに見学を行うなどの工夫をしてグループホームへの理解促進及び人材育成に努めている点が評価できます。 利用者にとっては日常の生活空間であるため、実習生やボランティアの受け入れに際し、基準やマニュアル等の作成をご検討ください。	①支援スキルの高い管理者を置いているか。 ○知的障害者施設にて生活支援員、サービス管理責任者、施設長を経験し、様々なケースに対応してきた実績あり。経験年数は38年。 ②支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 ○知的障害者施設にて20年勤務し、その間、社会福祉士の資格を取得。その他、サビ管研修、強度行動障害支援者養成研修（実戦研修）等受講し、今年度あおばのサビ管として異動。 ③支援スキルの高い従業者を置いているか。 ○常勤の生活支援員のうち11名は強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）を受講済みで、そのうち6名は実践研修受講済みである。社会福祉士3名、介護福祉士2名、精神保健福祉士1名の資格者有り。 ④事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 ○法人内で年間研修計画を立て、それに基づいて研修を実施している。（別紙職員研修計画参照） 外部研修については、その都度案内に従い、該当する者に受講を促している。 ⑤資格取得への取り組みはあるか。 ○講習を受講することで取得できるものは、適任と思われる者に積極的に受講を促している。国家資格については資格取得後、資格手当として給与に反映するようにしている。	利用者のほとんどが知的障害の方のため、知的障害者施設での経験者を柱に人的整備を行っており、強度行動障害に対応するために研修を受けるなど、必要とする資格取得に向けて体制整備に努めている様子がうかがえます。 施設長補佐の配置など職員体制の強化を図られているのが見受けられ、スキルの高い職員を配置し、さらに補佐を置くなど職員の層が厚く、施設長不在時でも対応できる点が評価できます。法人内での体制整備が行われたことで、短期入所を含むサービスの充足が期待できます。 管理者の方がよりスキルを活かすため、個別支援計画に基づく日々の記録のチェックやスーパーバイズの体制、支援を共有するためのミーティングをどのようにされているかを次の評価部会でお示しください。 パート職員も含め全職員が参加できる研修を計画的に実施されており評価できます。パート研修については職員から継続して実施の希望があることから、引き続き実施をお願いいたします。 助言として、研修を受講された後の報告及び事業所内のフィードバック体制を整えていただくとうり良いかと思われます。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①休日等GHにいる方については、移動支援を利用し外出する機会の確保に努めている。移動支援を利用しない場合でも、散歩やドライブの機会を設けるようにしている。 ②4名 近い将来GH入居を視野に、どのような生活を送るのか経験として利用。	休日にも移動支援を活用することで外出の機会の確保に努め、余暇の充実を図られており評価できます。 一方で市内の移動支援事業所の数が少なく、土日は在宅の方の需要もあるため、次回の評価部会時に入居者で移動支援を契約している方の数や、月の利用割合等をお示しください。 また、休日時や月単位の支援計画を策定していない場合には併せて策定をお願いします。 体験利用については、実人数3名のうち2名が本入居に至った点や、複数回の受け入れ及び即時入居を前提としない受け入れをされている点が評価できます。地域に根付いた活動をされている貴法人の性格上、より多くの方の体験利用を受け入れていただきたいです。	① ②緊急受け入れ人数：12名 両親との意見が合わず、最終的には暴力をふるってしまい、本人が親と共に暮らすことを拒否したため短期入所を利用。本人が納得して生活できるGHが見つかるまで滞在した。 ③前年度の受け入れ人数 成人：男性21名、女性10名 児童：男児4名、女児10名	松戸市が委託している地域生活支援拠点との棲み分けがあるため、一部評価が難しいところもありますが、多数の利用者を受け入れており、状況に応じて1ヶ月を超える長期利用も行うなど、柔軟な対応をされており評価できます。 短期入所や緊急受け入れを多数受け入れていることから、地域の中で欠くことのできない貴重な地域資源となっていることがうかがえました。 また、緊急時の対応などレスパイト対応において適切な支援を実施していると感じました。	⑥利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 ○明確なものではなく、体験利用でGHの暮らしを経験した上でご本人が家庭を離れた生活に順応し、入居を希望した場合受け入れ可能としている。その際、相談支援事業者やご家族、関係機関等による最終的な調整会議を行い判断している。 ⑦実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか ○食へのこだわりにより極端な偏食で、GHでの食事を受け入れることができなかったため、健康が保てないのではという危機から入居を断念した。 ○これまで正規職員並びにフルタイムで勤務する非正規職員については、研修会への参加等積極的に促してきたが、パートで勤務する世話人等への研修が不十分だった。そこで、パートも含め参加できるGH職員全員で研修会を開催したところ、今後も開催してほしいという意見が多く聞かれたことは収穫だったので、今年度も開催し支援スキルの向上に役立てたいと思っている。	利用希望者を幅広く受け入れている様子がうかがえ、相談支援事業所を交え利用者及びご家族が納得して入居に至るように工夫されている点や、他の入居者との相性も考慮しつつ調整されている点が評価できます。 助言として、日中支援型の目的である高齢・重度の方を優先するための仕組みや、入所希望登録・入所判定会議などの仕組みを構築していく必要があると思われます。 1回の体験でGHでの生活が難しいとされた人にも複数回の体験を通じ、偏食の課題を本人のペースに合わせて改善して本入居に結びつけた実績はとても評価できます。 パート職員も含めた全職員が参加できる研修を設け、全体のスキル向上を目指す取り組みがされており評価できます。 福祉業界は多忙な職種のため、研修の形態や方法など工夫を凝らして実施していくことが必要であると思われます。さらなる研修の充実を期待いたします。
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
					入居者本人はもちろんその家族についても相談支援事業者と情報を共有し、新たなニーズや課題について、どのようにしたらクリアできるか共に模索している。 また、基幹や子供発達センターからの短期入所の契約を順次進め、有事に備えている。	入居者並びにご家族の相談に丁寧に対応されており、家族のニーズも考慮しつつ多数の短期入所契約を行っている様子がうかがえます。当日対応が求められる緊急利用者の受け入れ先として認知が進み、社会資源として活用される段階にあることがとても評価できます。 事前契約等の課題はあると思いますが、これからも「今日使いたい」という利用者のニーズに1件ずつ応えていただければと思います。 また、法人内だけでなく法人外の相談支援事業所を利用しており、広く密に連携が取れていると思います。		

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

			利用者の主な日中サービスについて ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
5	松戸市（ホーム松戸東平賀）	10人	①食事提供・入浴介助・排泄介助・体位交換・更衣介助・居室掃除・洗濯補助・健康管理・受診同行・外出同行などの利用者様で出来ない部分を支援しています。また、一緒に余暇活動（散歩や塗り絵等）も行っております。 ②生活介護・6名 就労継続支援B型・2名 デイサービス・2名 ③9人 ④外部の日中活動サービス等を利用していない方について、外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。 ○職員が話しかける事が多いと、怒鳴るような声出しを始めます。また周りの会話する声から、緊張や不安感から声出しがあり主治医に「日中活動について」相談していましたが、様子見とのご判断でした。 訪問看護に入って頂き経過観察をしておりましたが、精神状態が安定してきたので、日中活動について検討しています。 GH内では、規則正しく生活しており、日によっては買物や散歩も職員が同行し行っています。テレビを観て過ごす事が多いですが、不穏に気遣いながらコミュニケーションを取っています。	平日はほとんどの入居者が外部の日中活動サービスを適切に利用されており、日中活動先とも調整や連携をされており評価できます。 日中活動サービスを利用していない利用者に対しても、難しいながら状態に応じてコミュニケーションをとり、利用者のペースに合わせた段階的な対応や支援を行うことで、生活の安定に努めていると思われます。 その他に散歩等の余暇活動も用意し、生活の質の向上を図っていることがうかがえ、全体的に利用者の情緒を確認しながら、日常生活の安定を基盤として余暇活動の充実を図る方針を感じました。 また、ADLが低下している方に対して、利用者の状態・状況に応じ、多岐にわたり寄り添った支援を適切に行っている様子がうかがえます。 要望として、日中サービス支援型グループホームという性質上、閉鎖的な環境になりやすいため、利用者の個別支援会議を実施し、関係機関と共に対応について引き続き協議をお願いいたします。	①散歩や通院等の同行の際に、近隣の方と交流を持つ様に挨拶や会話等をしております。また、コロナ等の感染症対策をしながら、面会の制限はせず、自由にご面会をしていただけるようになっております。また、ホームで行う救命訓練について、管轄されている消防署に相談しましたが、GHへ来所して訓練することは、現在行っていないとの事でしたので、職員を集め消防署へ行き、ご入居されている方の状況を共有し、救命講習を受けてきました。 ②今までは「コロナ禍」という事もあり、外部からの受け入れが難しかったですが、今後はボランティアの方の受け入れを積極的に検討してまいります。 ③実 習 生：0人 ボランティア：0人	地域生活を意識された活動をされており、地域とのつながりを持った生活が送れるよう配慮されていて良いと思います。また、コロナ禍においても家族との面会を常に認めており、家族にとっても開かれた環境であることも評価できます。 報告からは地域との交流機会が少ないように見えたので、地域のイベント等への参加についてもご検討ください。 救命講習への積極的な取り組みはとても評価できます。新入職員が入職された際にはぜひ継続して実施をお願いします。 実習生やボランティアの受け入れについては今後の取り組みに期待しております。受け入れにあたってはマニュアルや一定の指針を作成し、利用者にとっての生活の場に他人が入ることへのリスクを軽減していくことが良いと思われます。	①支援スキルの高い管理者を置いているか。 ○令和3年2月～ソーシャル・ホーム松戸東平賀管理者 ②支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 ○資格 精神障害者ホームヘルパー・同行援護従業者・介護福祉士・千葉県相談支援従業者初任者研修・サービス管理責任者基礎研修 ③支援スキルの高い従業者を置いているか。 ○介護福祉士1名・社会福祉士1名・介護職員初任者研修3名移動支援従業者養成研修1名 ④事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 ○事業所内研修：会社での年間研修計画あり。事業所外研修：会社として強度行動障害研修やサビ管に関する研修はエリアマネージャーを中心に受講推奨、管理している。今後、管理者や生活支援員などは率先して取得していきたいと考えております。 ⑤資格取得への取り組みはあるか ○サービス管理責任者や強度行動障害に関する研修については、受講費の補助あり。その他の資格取得に向けた講習や研修については、上長と検討のうえ、対応しております。 ⑥利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 ○あくまで、運営規定にある規定を守っていたくとともに、その方その方の特性に合わせて、ご相談をさせていただいたうえで、個々に決めてまいります。 ⑦実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか ○看護師の配置が無い為、医療ケアが必要な方はお断りした事がありました。 ○前回のご要望、助言に対しまして「非常災害対策計画」を作成いたしました。	サービス管理責任者の配置を行うには基礎研修だけでなく、実践研修を受講する必要がありますので、今一度ご確認をお願いします。 人的体制の整備に尽力していることはうかがえますが、基準に沿った資格取得者を配置できるよう、法人として資格取得を勧めてください 報告を通じて、管理者の方の想いは伝わってきましたが、経験のみ足りていないと思われるため、管理者が孤独にならずに安心して経験が積めるようなフォロー体制を整えていただきたいと思います。 管理者がスキルを活かすため、現場へのスーパーバイズ体制やミーティング機会の有無、現場職員との会議の頻度については次回の評価部会でお示しください。 グループホーム職員全員を対象に研修を行い、スキルアップを図っていることがうかがえます。利用者の安全安心につながる災害や人権を保障する内容の研修が年間計画に位置づけられております。 研修スケジュールについても適切であると感じます。 要望として、様々な障害種別の方がいるため、障害特性については研修の機会を増やしていただき、今後、さらなる研修の充実を図っていただければと思います。 利用者やご家族との相談を行いながら受け入れの可否を検討している様子が見えがえやす。最低限の規定を整備した上で、多様な障害種別をもつ利用者の受け入れを行っており、明確な基準を運営規定に記載されている事は素晴らしいと思います。 要望として、日中支援型の目的を鑑みると重度・高齢化への対応は大きなテーマであり、医療的ケアや服薬管理などの対応から、看護師の配置について今後検討していただければと思います。 非常災害対策計画は綿密な対策計画が示されており、他機関との連携もスムーズに行うことができるように準備していることがうかがえ、他のグループホームのお手本となるととても評価できる内容です。 他にも日中・夜間それぞれの避難訓練が実施され、非常時に対する研修が充実していることがうかがえました。 助言として、研修計画に避難訓練が記載されておりますが、避難訓練とは別に災害時対策のための研修を実施していただくことより良くなるかと思われます。
利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。				短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。				
事業者		協議会		事業者		協議会		
①千葉県障害者スポーツ大会の水泳競技に参加された方や、芸能人のコンサート等の為、仙台まで行かれた方もいます。また友人と外食し楽しんでいる方もおられます。その為、その方のスケジュールに合わせ、入浴時間や食事提供の時間を変えたり、安全に帰所できるように声掛けをしています。 ②令和4年5月1日から令和5年6月1日までの間、有償体験1名様。そのままご入居。弊社施策の無料の体験入所1名、そのままご入居。 ご自宅からのご入居で、自立を目的として体験利用。不穏になる事もなく過ごされたので、そのままご入居する運びとなりました。		個人の興味や関心に合わせて活動内容を選定することで利用者の自己決定を尊重しており、利用者の人格を尊重した運営を感じました。 スケジュール等を考慮して日常生活の支援を柔軟に対応するなどのサポート体制が整えられており、休日に出外する利用者に応じた支援を提供している点が評価できます。 また、貴社施策の無料体験は、初めてグループホームの体験を行う利用者にとって大変ありがたいものであると思われますので、今後とも続けていただければ幸いです。		①受け入れ件数がまだ少ないため、今後も実績を重ねていただき、緊急の利用希望への対応を期待しております。 併せて、短期入所における周知方法の再検討や相談支援事業所との連携の強化に努めていただきたいです。 また、松戸市地域生活支援拠点への登録をぜひお願いいたします。		○設備のバリアフリー化や日中に外部の事業所を利用している方への送迎支援等玄関のスロープ・車いす用トイレ・リフト浴・エレベーターの設備があり、洗面台の一つは1階・2階と共に車いすの方でも使いやすくなっております。 服薬管理も行っている為、かかりつけ薬局を統一し、入居者様の服薬を薬剤師と 情報共有しており、誤薬が起きないように管理していただき、薬の使用方法が不明な時は相談出来るように連携しております。		
支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか				相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について				
事業者		協議会		事業者		協議会		
①日勤2名・夜勤2名での支援体制です。万が一、不足がある場合は弊社の他事業所からヘルプ要請し、人員の確保に努めております。		日中・夜間とも職員が確保されており、利用者の在住状況を考慮し、日中も2名体制にしている点が評価できます。人員不足にならないよう状況に応じて柔軟な対応をお願いします。 要望として、他事業所からのヘルプについての稼働状況や、実際の勤務表について次回報告時にお示しください。また、業務内容についてもう少し詳細にご教示ください。		利用者様にお怪我や体調の変化、入院等があった際は、必ず関係する事業所へ情報共有し、必要な時には担当者会議を開き、連携しております。事例としましては、GHの生活にも慣れてきたので、ご家族のご希望もあり、日中活動先を事業所で探し、相談事業所の方と連携し、通所する事ができた方がいます。また、移動支援中に誤嚥で入院した方の退院後の食事について、病院からの指示もあったので、通所先の事業所、相談員、訪問看護師と情報共有し、食事の形態や、どのように支援していくかなどを話し合いました。		利用者の体調管理や生活の質の向上には、他機関との連携が必要不可欠ですが、関係者への情報共有や必要に応じた担当者会議の開催、医療機関との連携等が主体的にされており、柔軟に支援を行っている点が評価できます。 相談支援専門員が多忙であるがゆえと思われますが、日中活動先をグループホームで探していただけなのは相談支援事業所にとって大変ありがたい反面、本来は相談支援事業所としての業務であることから、相互の役割について引き続きご検討をお願いします。		

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

		利用者の主な日中サービスについて ①GH内で主にごのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他			
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会	
6	松戸市（ふわふわ松戸）	20人	①利用者様それぞれの特性に沿い、日中活動を日々行っています。グループで季節の創作活動を主に行い、個別に機能訓練、リハビリをさらに各種体操を定期に行っております。強度行動障害利用者様には、個別に「構造化されたプログラム」に沿った活動をマンツーマン支援にて実施しております。また、リラックスできるよう散策、外出を行っております。	利用者の特性に応じた日中活動を用意し、探索活動から機能訓練や各種体操など、幅広く用意されているのがうかがえます。特に、強度行動障害のある方が多数入居しており、個別にプログラムを用意するなど、グルーピングと個別支援が実施されていることは評価できます。多様な利用者がいる中でのグループワークは企画・実施が大変だとは思いますが、引き続き実施をお願いします。	①家族や保護者の皆さま方とは現在積極的に連絡を取り合っており、内部の状況なども常々把握して頂けるように努めています。コロナ時期とも重なり家族会の実施は行われませんでした。再度、検討準備しております。散策時において挨拶運動を通してコミュニケーションを深めており、今後ボランティアや実習生の受け入れを行っていきたくと検討しております。	家族や地域住民とのコミュニケーションを重視した取り組みはとても評価できます。同じ住居内で生活する入居者のみならず、家族が繋がるという事は大きな強みになりますので、家族会の存在はとても有効と思われます。是非、家族会の実現を望みます。	①支援スキルの高い管理者を置いているか。 ○初任者研修修了、強度行動障害研修受講予定 ②支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 ○社会福祉士・サービス管理責任者、相談支援従事者、介護、支援に関わる実務経験が10年以上有り ③支援スキルの高い従業者を置いているか。 ○強度行動障害支援者養成研修修了者3名、介護、支援に関わる実務経験が3年以上の職員9名、介護職員初任者研修修了者6名 ④事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 ○新人研修マニュアルを社内研修として習得（入社～6か月間）6か月経過しても各種マニュアルの再研修を実施 外部権利擁護・虐待防止研修を年2回行う。	強度行動障害の利用者が多い中で、強度行動障害に対応した職員を複数名配置しているほか、有資格者や実務経験が10年以上となっている職員もあり、職員を育てながら支援する体制を整えており、安定した支援が期待できます。一方で、管理者については記載から支援スキルの高さが読み取れないため、継続して配置を行うために、周りのサポートが必要と思われます。	
			②・就労B（2名） ・生活介護系サービス（6名）	また、日中もGHで過ごす11人に対して職員5～6人配置するなど、昨年度より職員を増やし対応しているのがわかりました。	②松戸市社会福祉協議会様からのご紹介：ペリーダンスサークルにダンスの披露をして頂きました。利用者様にも好評で定期的な開催となっております。（令和4年9月と令和5年1月）	また、散策時の挨拶運動で地域とあいさつで繋がることはとても重要ですので、引き続き実施をお願いします。	○社会福祉士・サービス管理責任者、相談支援従事者、介護、支援に関わる実務経験が10年以上有り ③支援スキルの高い従業者を置いているか。 ○強度行動障害支援者養成研修修了者3名、介護、支援に関わる実務経験が3年以上の職員9名、介護職員初任者研修修了者6名 ④事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 ○新人研修マニュアルを社内研修として習得（入社～6か月間）6か月経過しても各種マニュアルの再研修を実施 外部権利擁護・虐待防止研修を年2回行う。	管理者の現場へのスーパーバイズ体制や、ミーティングの頻度、記録のチェック方法についてご教示ください。また、多くの方の日中プログラムの決定方法について次回の評価部会にてお示しください。	
			③8人	支援が難しい方を受け入れていただいておりますが、行動障害及びその対応等について説明が漠然としていたように感じましたので、今後どのように専門性を深め対応をしていく予定か、今一度ご検討ください。	③実 習 生：0人 ボランティア：0人	他にもボランティアグループの演芸鑑賞や、誕生会等のイベントに家族の招待を検討されており、地域に開かれた運営が意識されていると思います。	○強度行動障害支援者養成研修及びその他研修を選抜して受講する計画となっております。	運営方針に沿った研修内容を用意して実施している様子がうかがえます。重度の利用者が多い中で、対応の難しい強度行動障害者の支援に対して手厚く研修が用意されているほか、新人に対する研修が手厚く行われております。	
			④外部の日中活動サービス等を利用していない方について外部の日中サービスを利用していない方がいる場合は、その主な理由と、GH内での生活スケジュールの個々の事例を挙げてください。 ○グループホーム周辺の日中サービス事業所で、送迎があり、かつ空きのある場所がないことが主な理由です。相談支援事業所等と連携して改善に取り組んでおります。	グループホーム内での生活スケジュールについて ・午前 創作活動（女性）、機能に応じて体を動かす活動（男性） ・午後 居室や居間でテレビ鑑賞、職員と歓談（夏場が暑いため） ・夕方職員付き添いで散歩、買い物等		社会福祉協議会の活用は、相互にとって良い働きが生まれる素晴らしい取り組みと思われます。このような独自の取り組みは、グループホームの風通しを良くする効果もあると思われ、とても評価できます。	○資格手当、給与の等級制などの金銭面でのサポートや、実務経験を積んだ職員へのサービス管理責任者取得など、管理職を目指すような育成体制を整えている。	経験がある職員についても、定期的に内部研修の機会を設けることで、支援の振り返り・見直しができると思われます。	
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。		○利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 ○基本的に重度支援区分の高い利用者様を主体で受け入れるを行っている。医療依存が高く医療従事者の対応が必要なケースや精神疾患にて慎重な対応が必要なケースなどは地域の訪問看護や往診医と連携して支援ができるかどうか検討をさせて頂いています。		会社として資格取得を支援する取り組みが行われており、職員への待遇や育成に積極的に取り組まれている様子は評価できます。さらに、職員の資格取得への意欲が高まるような体制づくりや周知について工夫していただくとより良いかと思われます。
			事業者	協議会	事業者	協議会	○リフト浴付きとなっておりますので、車いす利用や身体介助が必要なケースは対応可能です。		重度の方や支援区分の高い方を主体的に受け入れる方針のもと、積極的に受け入れている状況や、そのための体制・環境づくりに主体的に取り組まれている様子がうかがえ、地域資源において貴重な施設であると感じます。
			①塗り絵、折り紙、レジン及びビーズ工作、刺繍、ボール遊びや職員管理のもと調理実習のようなイベント、レクにて余暇活動しております。 外出支援は、近隣のスーパーに買い物支援、地域交流を深めるためお散歩支援時に挨拶運動を行っております。	施設内の日中活動を充実させ、生活安定の基盤を作った上で、利用者が取り組みやすい活動を通して、地域との交流を図っているのがうかがえます。記載から日中に職員が手厚く配置されている印象を受けました。 また、グループホーム内でのみの生活にならないよう近隣へ外出し、地域での生活を支援しているほか、外出時の「挨拶運動」の取り組みが評価できます。	①・1名 ②・1名 家族からの要望により、一時的な措置で短期利用して頂きました。	利用希望者のご家族の突発的な状況の変化に短期入所が必要となることもあり、受け入れの枠があることは重要な地域資源となります。現状、セーフティネットとしての機能が活かされていると思いますので、今後も引き続き、短期入所の受け入れをしていただきたいと思います。	⑦実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか ○利用相談にて断った事例はありません。 通所先との兼ね合いにより決まらなかった。家族との利用料の折り合いがつかなかったという事例はあります。		重度支援区分の受け入れを主体的に行っていることは地域の受け皿としてありがたく、とても評価できます。
支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について							
事業者	協議会	事業者	協議会						
①平日：利用者12名／20名に対して1ユニット2～3名 日中、土日祝：利用者20名に対して1ユニット3～4名 夜間支援：1F（A棟）ユニット2名 2F（B棟）ユニット1名～2名配置にて支援体制を確保	利用者と支援者の人数比から、平日・休日・夜間のいずれも必要な人員は確保されているように思われます。強度行動障害の利用者が複数名いることから、状況によって人員不足にならないよう配慮をお願いします。	地域の相談事業所とは緊急時は勿論、常に施設の状況の連絡を取り合っており、利用相談や個別支援状況の共有を行っています。	地域の相談支援事業所や日中の通所先等と常に連携が取れていることは大切であり、評価できます。						
		通所先の方々と日々日数を重ねるごとに利用者様などが詳細に連絡を取り合える関係性が構築されており、問題や何か気になった点などの相談を行っています。	日中支援型の対象者は重度かつ高齢の方が中心であることから、ライフステージが大きく変わる事も想定されますので、特に相談支援事業所との連携は今後も継続していただきたいと思います。						
		かなりの方が日中GHで過ごされていることから、生活職員の業務の違いも大きいように思いますので、職員の業務内容や勤務形態について次回の評価部会にてお示しください。	要望として、行動障害の方を受け入れている場合、医療連携が不可欠であると思われますので、病院・クリニック・薬局等とのさらなる連携強化に努めてください。						
		また、他のグループホームを含めて、被災時利用者の安全が確保できるか日々検討いただけますと幸いです。							

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

			利用者の主な日中サービスについて ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
7	松戸市（しんわ松戸）	20人	① 日中活動との差別化を図る為、生活に沿った内容の支援を重視している。 ・ウォーキングや散歩等の健康面の支援 ・掃除や洗濯等の日常生活スキルの支援 ・食事や入浴、排泄等のADLの支援 ② 生活介護 ③ 13人	生活に沿った内容の支援を重視したサービス提供を行っており、細やかに対応されている様子がうかがえ、評価できます。 外部の日中活動サービスについては利用者全員が利用している点が評価できます。今後、利用者の状態・状況の変化に応じ、サービス見直しの必要が出てくることもあると思いますので、引き続き生活支援を重視した対応を期待しています。 助言として、利用者のニーズに就労希望はないかどうか、送迎ありきの支援に傾いていないかを今一度ご確認ください。 要望として、入居者の年齢層が幅広く、ADLの程度も様々であるため、3：1の人員配置において個別支援がどの程度実施されているかを次回の評価部会にてお示しください。 また、若年層の入居者が多く、ほとんどの方が週末も自宅に帰り、日中にホームでの支援を必要としないことから、重度高齢化に対応するために設けられた日中サービス支援型の設立趣旨に合致しているか、通常のホームの支援と違う点について今一度ご検討ください。	① ご家族：入居後、GHでの生活に慣れて頂くため週末など定期的にご帰宅頂いている。（対象者：4～5名） 本入居の前に家庭訪問を実施し、ご家族様と事業所の関係構築に努めている。（対象者：8名入居先のGH 3名） ② 受け入れ実績なし、次年度以降検討中 ③ 実 習 生：0人 ボランティア：0人	入居前の家庭訪問や、グループホームでの生活に慣れていただくための定期的な帰宅等、独自の取り組みを行い、積極的に家族との関係構築や事業所との連携に取り組まれている点はとても評価できます。 地域住民との交流機会の確保に努めてください。 また、実習生やボランティアの受け入れについては、人材確保が課題となっている福祉業界において、人材育成の観点から必要かと思われますので、利用者の安全を考慮のうえ、受け入れをご検討ください。	①支援スキルの高い管理者を置いているか。 ○障害福祉に関わる業務歴10年（日中通所施設、共同生活援助サービス）、介護福祉士資格、強度行動障害実践研修修了。 ②支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 ○障害児入所施設に18年勤務経験があり、保育士資格を保有している。松戸市内でのサービス管理責任者の経験もあり、強度行動障害実践研修修了。 ③支援スキルの高い従業者を置いているか ○障害分野での経験は浅いが、高齢者分野での経験がある支援スタッフが複数名配置している。 介護福祉士資格保有者（4名） ④事業所内、外部研修の年間受講計画はあるか。 ○・強度行動障害支援者養成研修へ随時受講 ・障害福祉研修（4月実施）※GH支援ワーカー ・服薬指導研修（5月実施）※のぞみ薬局様 ・オープン研修（1月研修）※CAS 以降、第三者委員等による虐待研修も計画中 ⑤資格取得への取り組みはあるか ○法人内の資格取得支援制度を活用している。 ⑥利用希望者の受け入れ可否の判断基準はあるか。 ○明確な基準は、備けていませんが、ご本人やご家族の不安を払拭するために体験を複数回行っている。 ⑦実際に利用希望があった時に受け入れを断った例はあるか。 ○新規開所の事業という事で、可能な限り家庭訪問を実施し、丁寧なモニタリングを心がけた。その上で、お断りをしなければならない時は、事情をきちんとお話しし、理解していただいた。 ⑧設備のバリアフリー化や日中に外部の事業所を利用している方への送迎支援等 ○隣接する場所に生活介護事業所があり、昼夜を通した情報共有を行っている。 ○手作りのお食事等、家庭的で落ち着いた環境。 ○トイレ等はわかりやすくピクトグラムを掲示。 ○トイレ等はわかりやすくピクトグラムを掲示。 ○極力段差の解消によるバリアフリー化。※ユニット1	総じてスキルの高い職員が配置されており、業務経歴が長く、複数の資格を有している方を管理者やサービス管理責任者に据え、支援スタッフを支えて運営している様子がうかがえました。 介護福祉士を配置されていることは支援者、家族ともに安心できると思われます。助言として、男女の利用者が同数である中で、職員配置は同性介助を念頭に置いていただきますようお願いいたします。 また、要望として、資格や実務経験を生かした現場職員への実習や、日々の記録のチェック、支援についてのミーティングや、スーパーバイズの体制について次回の評価部会にてお示しください。 年間計画の中で幅広い研修内容を用意しており、基礎的な内容から、福祉業界の課題とされている内容まで網羅されていて、安全な生活づくりにつながる研修内容が多い印象を受けました。生活介護事業所と合同で年間の研修計画を作成されている点も素晴らしいと思います。 加えて、落薬事故の経験をふまえ、服薬指導研修を実施するなど、現場で必要な研修を柔軟に取り入れている点や、職員全員が受講できるよう複数回に分けて研修を実施されている点もとても評価できます。 助言として、現場の直接支援に関連する研修が少ないように見受けられますので、GHは生活を支える場であることから、日中支援とは別の研修課題も必要と思われますので、今後グループホーム独自の研修計画の作成についてご検討ください。 また、研修講師を外部に依頼している点は望ましいですが、反面勉強だけで終わってしまう可能性もありますので、内部の職員による研修も実施いただくとより良いかと思われます。 資格取得については、初任者研修及び国家資格等の取得補助や、合格した場合は返済の必要がない前貸しの制度など、法人として取得を促す取り組みされているように思われます。 体験を複数回行うなど、提供するサービス内容を十分に理解していただいた上で入居する方針がうかがえ、受け入れにおける丁寧な支援プロセスが評価できます。入居希望者への家庭訪問はぜひ今後も続けていただければと思います。 助言として、受け入れ可否の判断に差が生じないよう、受け入れ基準の作成や、判断基準の運営規定や重要事項説明書等への明記、入所判定会議の開催など、受け入れの可否について客観的かつ記録として残せるような体制の構築ができる良いかと思われます 全体的に適正に運営されていると思います。家庭的な環境づくりやピクトグラムの掲示など、利用者が安心して暮らせる場の提供に取り組まれている状況がうかがえ、評価できます。また、隣接する生活介護事業所と連携がとられている点も評価できます。 同一フロア内はバリアフリーが徹底されており、重度化・高齢化に対応した運営がなされていると思われますが、現在の構造では、2階の男性フロアがADLの自立できる方しか受け入れられない状況となっており、ご説明いただいたようにエレベーターの設置が望まれます。 また、助言として、介護サービス包括型のグループホームとの棲み分けを要する可能性がありますので、日中サービス支援型の意義に基づいたサービスの提供についてご留意ください。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 休日は、行ける時には、近隣の散歩やドライブ等行うようにしている ② 20名 体験期間として、2泊3日を基本とし、希望される方は4泊5日の体験利用を行っている。	地域の町内会や自治会に事業所として加入し、利用者が地域のイベントに参加するとともに、事業所が主催する行事を地域住民への参加誘致を行うなど、相互にかかわりを持っており、地域と交流しやすい環境となっていると思われます。 また、休日にも外出の機会を設け、余暇の充実に努めている様子がうかがえます。 助言として、「行ける時」という表現は支援者目線を感じますので、そのような目線の支援になっていないかご留意ください。 体験利用については開所して間もない中でも多く受け入れ、ニーズに応じた受け入れがされた結果、20名のうち13名が本入居に至った実績は評価できます。 また、本入居前の家庭訪問の実施は、入居へ至る支援調整のプロセスとしてとても評価できます。 現在は入居に向けての体験が多いと思われますが、満室時の体験利用をどのような形で実施されるかについてもご一考ください。	① 2名 ②	開所して間もないため事例が少ないながらも、週末に高校生の体験を受け入れるなどの柔軟な対応が見られました・引き続き、実績を重ねていただければと思います。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 人員配置区分 I 型（3：1）に準じた配置基準で世話人／生活支援員を配置している。 おもに平日日中は、常時10名以上配置しており、土日は、常時6～8名を配置している。 また、夜間の職員体制の強化についても評価できます。	日中・土日とも十分な職員が確保されております。特に、利用者の主な障害種が知的障害である中で、世話人や生活支援員を常時10名以上配置されており、利用者の生活の安定を図る上で手厚い体制であると感じられました。 また、夜間の職員体制の強化についても評価できます。	・本入居前の担当者会や入居に際して、常時確認等を相談支援専門員と連携を図っている。 ・既存利用中の生活介護事業所へ、見学や支援方法の共有などを行っている。（ワーカーアウト様、ホリデー様、かぜ様） ・武蔵野北総クリニックと連携し、訪問診療の対応を行っている。（5月より） ・のぞみ薬局と連携し、訪問薬局の対応を行っている。（4月より）	本入居前の支援連携や入居後の事業所連携が密に行われており、利用希望者のニーズの把握やすりあわせを丁寧に行い、入居後の生活安定につなげており評価できます。 また、生活介護事業所と連携を図り、日中活動の充実に努めている様子もうかがえました。 訪問診療や訪問薬局といった医療機関との連携は、利便性の向上だけでなくグループホームに外部の人が出入りする機会にもなっており、素晴らしいと思います。加えて、訪問診療や訪問薬局を統一することは支援を行う上で効率的であると思われます。 精神症状の悪化等が見られた場合に備え、入院病床がある精神科病院との連携について今一度ご確認ください。		

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

			利用者の主な日中サービスについて ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
8	袖ヶ浦市（サエラ蔵波）	20人	① 平日の日中は基本的に外部の日中活動事業所を利用している為、グループホームでは日中サービスの提供はしていない。 土日は外出等の余暇支援や社会活動参加の支援を提供している。 ② 就労継続支援B型 1 人、生活介護 1 9 人 ③ 20人	外部の日中活動事業所を利用することが可能なのであれば、日中サービス支援型のグループホームを利用する必要が無いとも言える。 今現在は、日中は外に出て刺激を受け、生活の質的にはとても良いものだと思うが、何か諸事情があって外に出られない場合は、グループホーム内でしっかりと対応されることを、協議会としては望む。	① 個々の家庭状況により帰省や家族面会の機会を設け、職員からも近況報告を実施している。また、家族参加の行事を企画し、交流を図っている。 地域住民とは地域清掃や相互に招待して行う小規模イベント(グラウンドゴルフ等)や地域の例大祭等で交流を図っている。 ② 福祉系学生の実習受入を積極的行っている。 ボランティアはグループホーム内外の環境整備や利用者の余暇支援の補助等を行っていただいている。 ③ 実 習 生：6人 ボランティア：53人	利用者の方が地域の一員として地域の行事へ参加するなど、利用者の方がより一層充実した地域生活をおくれるよう、地域との継続的な関わり合いを今後も期待したい。	特になし	現状では入居者に、「強度行動障害や医療的ケアの対象者がいない」ことは致し方ないが、日中サービス支援型共同生活援助の趣旨から、そういった方を積極的に受け入れる姿勢は必要だと思うので、引き続きお願いしたい。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 定期的に近隣の店舗で日用品や飲食物の購入を行い、趣向品の購入やスポーツ観戦等の要望があれば市外も含めて外出をしている。またグループホーム利用者全体で一泊旅行やバーベキュー等の食事会を実施している他、地域住民と合同で実施しているグラウンドゴルフ大会等の企画をしている。 その他、利用している日中活動事業所が企画しているクラブ活動や余暇活動の参加調整を行っている。 ② 在宅ケースで体験利用。主支援者が高齢であり、将来的なことも踏まえ共同生活援助のサービス利用に向けた支援を行っている。	常勤人数としても十分な人員数と思われるため積極的な外出や余暇活動の実施により、生活の質の向上に努めてほしいと考える。	① 要望のあった在宅ケースをその都度受け入れており、ほぼ満床の状況である。 ② 法人内で相談を受けているケースを情報共有し、必要に応じて受け入れを行っており、2件対応している。	短期入所の地域資源は貴重であり、積極的な受け入れを期待したい。 地域生活支援拠点の緊急時の受入れ機能を担う事業所としても登録している。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 生活支援員と世話人を変則勤務で配置し、利用者の日課全般(身支度、食事、入浴、歯磨き)の支援を常時提供している。 その他、適宜日常相談を受けている。	共同生活住居ごとに、1人以上の世話人または支援員を配置するとなっており、これを満たした配置がなされている。	関係のある相談支援事業所とは定期的に連絡を取りながら、担当利用者の情報提供や定期的なケース会議等を実施すると共に在宅者の新規相談等も受けいている。 他のサービスについては、同法人の事業所だけではなく、他法人の様々な事業所とも連携をしていき、利用者個々がより充実した日々が送れるように努めている。	利用されている方においては、利用者状況のとおりに重度の方もいる。また当該サービスの制度上の対象者としては高齢の方も想定されているところである。このような方のサービス利用が制限を受けることのないよう、緊密な連携を期待する。		

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

		利用者の主な日中サービスについて ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他		
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
9	佐倉市（グループホームふわふわ佐倉）	20人	① 買い物支援やお散歩に行く。季節事のイベント開催、おやつ作り、お誕生日会、受診同行、訪問看護、訪問診療、リハビリ、歯科、理容を入れている。 入居者様の希望に沿って日々買い物支援などはしております。又、近くを散歩をする。同行もして居ります。 ② 生活介護サービス ③ 9人	【委員】年間スケジュールで買い物や季節ごとのイベント等詳細を教えて欲しいです。また、外部サービスを利用していない入居者様の過ごし方の具体的内容をご報告いただきたいです。 （回答）買物については基本的に毎日実施しています。職員や訪問介護の方で同行したり、通院の帰りに買物に立ち寄るなどで対応しています。また、季節ごとのイベント等では、近日夏の縁日の様な催しを予定しています。そのほかクリスマスにも行事を予定していますが、正月は飾りのみとなります。そのほかバーベキューや9～10月頃には遠足も予定しています。 【委員】日中サービス支援型でありながらも、実際は生活介護に通所している方が多く見受けられますが、残っている利用者への日中活動の提供等については、どの様な取り組みをされていますか？ （回答）残っている利用者様については、テレビを見たりしているほか、散歩に同行したり、花の水やり等を行っております。	① ご家族の面会。外出時などの挨拶運動を積極的に取り組んでいます。 ② 受入れは現在ありません。今後出来るならば、ボランティア等に来て頂ける様に取り組みたい。 ③ 実 習 生：0人 ボランティア：0人		①・利用者の権利擁護体制についてどのようになっているか。 ○虐待防止委員会・身体拘束適正化委員会を設置しており、想定会議など行い各事業所のケースを検討している。 ○事故報告は事業所より法人へ連絡を受け、マニュアルに則り対応している。またヒヤリハットにて予防を行う。 ○男性支援での女性職員の対応になるケースは現在ありますが、同性介助推進に向けて取り組んでおります。 同性介助について 女性利用者様に対しては、女性職員がすべて行っております。また、男性利用者様について入浴などは基本男性にて行っておりますが、食事介助、排泄介助など支援が重複する時間帯においては女性職員が対応するケースがあります。 ②職員の研修体制についてどのようになっているか。 ○虐待防止委員会を事業所にて設置し、法人と合同虐待防止委員会を月に1度WEB会議にて開催し情報共有を図っております。 外部研修については、権利擁護研修やリスクマネジメント、事故防止対策等の、外部研修を受けに行ってます。今年度、強度行動障害の研修や地域法人様主催の研修に参加したいと考えております。職員の福祉の専門性にかかる研修の実施を出来るだけ行うようにして行きたい。	【委員】ヒヤリ・ハットが月20件程度という事ですが、どのような内容なのか分析された内容をご報告いただきたいです。 （回答）片麻痺の方の外出に同行した際、降車時に患足から降りてしまい、転倒しそうになった。その際は管理者が素早く本人を支えたので転倒には至らなかったが、今後は対象者のＡＤＬを踏まえ、降車時の支援が必要である事を認識し注視して対応していく事となった事例がありました。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験の利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会	③専門職の配置についてどのようになっているか。 ○（看護師等専門職の配置状況について） 現在、弊社にて訪問看護を7月から立ち上げ、そこからの訪問看護を週2～3日より稼働する予定です。 看護師配置について今後軌道に乗りましたら、日勤常駐として、配置予定となる予定です。 服薬は、提携薬局に一包化、配薬をして頂いております。 また、提携往診医（月2回の往診）にて利用者様の健康管理をさせて頂いております。24時間オンコールにて相談環境もできております。 提携往診医・薬局との連携により入居者様の健康管理を進められております。	
			① 外出レクについて、近場では、ユーカリが丘のイオンなど行き、いろいろ興味の有るものを観たり買えるものは買って帰るなど楽しみの一つとして行っています。又、バスにて他県に行きみんなで、楽しみました。本人のおやつと一緒に散歩に行きながら買いに行くのは勿論、ホームではおやつを作りをしたり、折り紙、塗り絵などをしている。又、（通院等の外出支援について）各入居者様の通院の予定を把握し、出来るだけ同じ職員で付き添い本人の要望や日々の行動などを相談して、各入居者様との関係も安心して貰える様に対応しています。 また、保護者様と通院されるケースもございます。 保護者様と会える機会を楽しみにされている入居者様様もいらっしゃいますので保護者様と話し合いをさせて頂きながら都合の悪いときなどはホームにて通院同行させて頂いております。 ②20名 入居前提の体験利用がほとんどですが、居室が空く予定の場合今後利用したい方の体験も可としております。又、グループ内の施設で空きがある場合紹介頂ける環境ならお願いをしています。	【委員】月にどのくらいの通院同行があるのか、また、同行先はどの様な所になるのかご報告いただきたいです。 （回答）通院同行については、毎月20～30件位になります。また、同行先は買物がメインとなっておりますが、先日は試験的にメガネの修理に同行したり、スマホの修理のためスマホショップへ同行したりしています。その他、通院帰りの際に昼食の同行等をしています。	① 週末利用や親御さんのレスパイトの為の受け入れや、今後の人生の中で一人で暮せる様にと体験としての利用を受け入れております。 ② ご家族からの虐待、ネグレクトというケースで緊急受け入れ等を実施しております。	【委員】短期入所利用について平均で月に（何人・何日）のご利用があるのか知りたいです。また、一人の方が平均何日の連続利用をされるのかお教えください。 （回答）男女で異なりますが、男性の場合1泊2日又は2泊3日の利用が多いです。また、女性の場合は土日を絡めたレスパイト的な利用が多く、主に2泊3日のペースになります。総計すると2泊3日のパターンで約10日程の利用となります。 なお、連続利用の最長は15～16日の短期入所の利用の方がいました。その方は短期入所後本入所になっています。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 日中土日を含めた支援体制 日勤者1ユニット3～5名（2ユニット5～7名） 夜間従事者1ユニット1-2名（2ユニット4名） 必要常勤換算 世話人5.5／生活支援員3.9（令和5年度） 令和5年6月より世話人配置4：1から3：1に変更申請し支援体制を手厚く致します。	【委員】コロナが5類となりましたが、GH（20人）での感染症対策BCP(業務継続計画)を教えてください。 （回答）BCPに関しては現在作成中であり、今年度中に完成予定です。利用者に関しては、感染者への対応や他の入居者への感染防止対策を講じていきます。また、濃厚接触者についても抗原検査等により感染状況を把握し、適宜対応します。職員に関しては、従事者がコロナに感染し、GHの継続が難しくなった場合、本部に協力をあおぎ、系列の施設から人員を補充配置します。	・常に相談員さん、生活介護事業所など連絡をとり情報共有している。 ・空室予定やグループホーム内の活動について共有させて頂いております。 ・今後、ボランティアの方を積極的に参加させて頂きたいので、我々も積極的にボランティアセンサー等声がけして行きます。			

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

			利用者の主な日中サービスについて ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
10	八千代市（グループホームふわふわ八千代島田台）	20人	①利用者様の生活に合わせた日常生活の支援を行っております。 生活支援 ・介助全般（起床介助、身体介助、入浴介助、食事介助、就寝介助等） ・通院等介助 ・買い物同行支援、お散歩支援、外食同行支援 ・個別スケジュールの管理、通所との連携 ・要望があれば、金銭管理を行います。 ・各種相談支援、行政手続き支援等 レクリエーション 毎週水曜日・・・作品制作 毎週土曜日・・・ランチ会、お茶会 毎週月曜日・・・移動販売者来所のお買い物支援 健康管理 ・毎日のバイタルチェック ・体重測定（毎月）管理 ・ラジオ体操等の運動支援 その他 ・住診（内科・歯科・精神科）・訪問看護・リハビリ・理美容等 ②生活介護、作業所へ行かれております。 ③11人	【評価】 個々の特性に配慮している様子が伺えた。 【要望】 日中活動に出ない方が8名いるため、日中の過ごし方について工夫をしていただきたい。	①・ご家族の来訪は、随時行っております。 毎週土曜日の昼食会にも参加され交流をはかっております。 ・近隣に住宅がないため、買い物支援や外食支援にて交流を図っております。また、移動販売を毎週月曜日に来ていただくことで利用者様と社会のつながりを持ち交流を図っております。 ② 実習生やボランティアをお受けしていきたいが、今現在まで実績がございません。 今後の課題としております。 ③ 実 習 生：0人 ボランティア：0人	① 【要望】 家族の来訪だけでなく、ボランティアや地域の方々と交流できる環境作りに努めていただきたい。 【助言】 地区の民生委員とも交流してみてもどうか。 ② 【要望】 実習生やボランティアの受け入れについて、積極的に取り組んでいただきたい。 【助言】 福祉系大学の実習生への募集や社会福祉協議会への相談を検討してはどうか。 実習生やボランティアの一日の活動についてマニュアルを作成してはどうか。	①利用者ニーズ把握について ・精神障害の利用者様について ○ご家族・ご本人・精神科医・相談支援員と目標について話し合い、スモールステップの共有と支援を行っております。 知的障害の利用者様について ○社会参加を目標として掲げ、買い物、お散歩、レクを通して様子観察を行いニーズ把握を行っております。] ②支援困難事例について ・精神的に不穏状態となり、「大声を出す」「物を壊す」ケース ・「暴言」「他害」があり支援困難なケース 精神的に落ち着いて生活して頂けるように傾聴し目標の再確認を行うことや振り返りの時間を設けご様子を職員間で共有し個別支援を行っております。 ③事故への対応について ヒヤリハットを作成して予防を行います。 法人と情報共有を行い、適時指示が行える体制となっております。 事故報告を作成し行政、関係各所と共有しております。 また、原因の究明を具体的にを行い再発防止へ取り組んでおります。 ・事故報告書 ・ヒヤリハット報告書 ④苦情解決の取組み状況 苦情報告書を作成し職員会議での共有と再発防止について検討し、改善を継続して行っております。	①【評価】 関係機関との連携、職員間との情報共有等を図りながら対応されている。 【要望】 引き続き対応願います。 【助言】 厚労省ホームページに「障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン」が掲載されているため、参考にしてみてもどうか。 ② 【評価】 関係機関との連携、職員間との情報共有等を図りながら対応されている。 【要望】 引き続き対応願います。 【助言】 支援困難ケースに対応できる職員のスキルアップのために、研修の実施や外部研修への参加等を検討してはどうか。 ④【要望】 重大な事故につながることもあるため、事前の事故防止及び再発防止に向け、事故報告書・ヒヤリハットの記録を事例検討等で活用し、職員間で共有していただきたい。 【助言】 夜間に事故が発生した場合、夜間救急では受診できる医療機関が限られることから、夜間救急利用時の具体的なマニュアルの作成や医療機関との連携に努めてはどうか。 ④【要望】 引き続き継続して対応をお願いしたい。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験の利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。		④苦情解決の取組み状況 苦情報告書を作成し職員会議での共有と再発防止について検討し、改善を継続して行っております。	
			事業者	協議会	事業者	協議会	④苦情解決の取組み状況 苦情報告書を作成し職員会議での共有と再発防止について検討し、改善を継続して行っております。	
			① （充実した地域生活を送るために行っている外出・余暇活動等の支援活動の事例についても記入） ・買い物支援（イオン・ドンキホーテ等） ・公園。コンビニエンスストアへお散歩支援 ② 将来的にグループホームを利用したい方の見学を実施し、ご説明の上体験利用を開始させていただいてます。 現在までに入居されて利用者様は、体験を通して入居されております。 また、入居前提でなくとも体験利用を行えます。	①【評価】 利用者を楽しんでもらえるように工夫している様子が伺えた。 【助言】 余暇活動の支援・充実のため、社会福祉協議会のボランティアセンターも活用し、外部講師等にも携わってもらうことも検討してみてもどうか。 ② 【要望】 見学会や短期入所の受け入れ等に関する窓口を明確にしていきたい。 【助言】 入居が前提でない場合でも体験利用ができることを通所施設等に周知してみてもどうか。	① ・短期入所の空室情報をお知らせして積極的にお受けしております。 ・女性の短期入所は令和5年7月より開始しております。 ② ・ご家族の入院により利用された利用者様 3名 ・児童相談所の規則による利用 1名	①【評価】 積極的な受け入れを実施していただいている。引き続き積極的に短期入所の受け入れをしていただきたい。 【助言】 空室情報の明示方法について、より良い方法を検討してはどうか。 ② 【評価】 緊急の受け入れについて前向きに取り組んでいる。 【要望】 八千代市地域生活支援拠点等事業への登録について検討いただきたい。	④苦情解決の取組み状況 苦情報告書を作成し職員会議での共有と再発防止について検討し、改善を継続して行っております。 ・支援スキルの高い管理者を置いているか。 介護分野10年の実務経験、障害分野で5年の実務経験を持つ資格 介護福祉士、サービス管理責任者・相談支援初任者研修 強度行動障害、CAS研修修了 防火管理責任者 ・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 管理者兼サービス管理責任者のため同上 ・支援スキルの高い従業者を置いているか。	【助言】 苦情報告書は、職員間で共有・確認後、確認した職員がサイン等をできるようにしていただきたい ⑤ 【評価】 強度行動障害・CAS研修を受講している職員がおり、実際に利用者の受け入れも行っている。 【要望】 より多くの職員が強度行動障害・CAS研修等の受講や、勉強会・研修会等への参加により、支援スキルの研鑽に励んでいただきたい。
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について		介護福祉士、初任者研修修了・看護師が在籍しております。	
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①2F女性同性介助の体制確保はできております。 1F男性同性介助については、極力男性職員の介助を心がけております。 日中（土日含む） 1ユニット2～3名（管理者除く） 夜間専従者 1ユニット1～2名の支援体制を確保しております。 ②・家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ○ご家族の来訪は、随時行っております。 毎週土曜日の昼食会にも参加され交流をはかっております。 ○近隣に住宅がないため、買い物支援や外食支援にて交流を図っております。また、移動販売を毎週月曜日に来ていただくことで利用者様と社会のつながりを持ち交流を図っております。	①【要望】 職員の確保の難しさもあると思うが、同性介助の体制確保について計画的に引き続き努めていただきたい。 ②【要望】 家族の来訪だけでなく、ボランティアや地域の方々と交流できる環境作りに努めていただきたい。 【助言】 地区の民生委員とも交流してみてもどうか。	相談支援事業所様とは、情報共有や情報交換を行いながら交流を図っております。 また他のサービスの事業者様やリハビリ・訪問看護・住診医の方と連携をとり相談・助言を頂いております。	【要望】 相談支援事業所等との情報共有等が行われているとのことであるため、今後も継続して関係機関との情報共有や連携を行っていただきたい。		

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

		利用者の主な日中サービスについて ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他				
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会		
11	八千代市（ソーシャルインクルーホーム八千代村上）	20人	① ・買い物支援（同行・代行） ・通院等介助（定期受診・突発受診） ・朝昼夕3食の提供 ・訪問関係（訪問リハ・訪問美容・訪問看護・往診） ・運動を兼ねた体操（散歩） ・脳トレ（塗り絵・間違い探し・書き写し等） ・朝昼夕3食の提供 ・定期レク（誕生日会等） ・季節毎施設内の飾り付け（ご入居者様と共に行う） ② ・就労支援A型（ 3名） ・就労支援B型（ 1名） ・生活介護（ 6名） ③ 10人	【評価】 GH内での日中活動について、個々への声掛け等も行いサービス提供を行っているが、全体的に内容をより充実させる必要がある。 【要望】 日中サービスについて、プログラムを計画・作成する等、提供するサービスの充実を図っていただきたい。	① ・ご家族様のご来訪については積極的に受け入れており、面会時間も柔軟に対応をしております。 ・ご来訪が難しいご家族様へは電話にて近況報告を実施しております。 ・地域住民の方々との交流については、コロナは5類扱いとなりましたが、本年度も当ホームや関係施設にて度々コロナ陽性者が出ており、クラスターが発生したため、集団での交流は難しいところですが、近隣へのお散歩の際やお店に買い物に出かけた際などは、積極的に挨拶を行う様にしています。 ② ・現在、受け入れについては千葉エリアの運営支援との協議中。 ・体制が整い次第、積極的に受け入れを行っていきしたいと思います。 ③ 実 習 生：0人 ボランティア：0人	【要望】 新型コロナウイルス感染症等の感染対策を継続しつつ、家族会等の家族を交えた交流会などを企画し、交流の機会の確保に努めていただきたい。 【助言】 地区の民生委員とも交流してみてもどうか。	①利用者のニーズの把握について ご利用者様の意見や要望を日常的に聞き取りを行っております。日中活動をご希望されている方には担当相談事業所に連絡をとり、活動開始に向け取り組んでおります。 ②支援困難事例について ・新規ご入居の方でご入居後の通院先や計画相談員が決まっていない状況の場合、ご家族様と共に通院先や計画相談員を探すお手伝いをするのですが、特に精神の方だと中々引き受けて下さる病院、計画相談員が見つからない事が多いと感じています。 ・精神障害の方の服薬調整をしていく中でお薬の副作用等による不穏状態が起きた事があり、服薬再調整のため再通院を試みるも主治医出勤日まで日が開いており、受診日までの日数がかかった。それまでの間、ホーム内で職員対応の工夫や病院から今の処方薬での服薬調整（頓服薬回数変更等）の指示等を仰ぐ等を行いました。が、抜本的な服薬調整をしないとご本人様の不穏状態を鎮めるのは難しいと感じた事例がありました。 ③事故への対応について ・事故報告書については、前回のご要望から書式/周知方法などを変更し、千葉エリア全体にてマニュアル化しております。 【第一報】 事故発生時の様子/事故後の対応等 【第二報】 ご家族様・関係各所への連絡とその時の返答内容 事故の原因と今後の対策案 周知開始と終了の日付 【第三報】 振り返り（再発防止できているか、適正であるか検討） ・周知方法として口頭周知と事故報告書を閲覧した職員は名簿にサインをする形をとっております。 ④ 苦情解決の取組み状況 ・書面にて記録を行い本社・施設内にて共有を行っています。 ・改善が必要な内容については、都度管理者より申し送りを通して全職員と共有し改善に努めております。 ・必要に応じてエリアマネージャーも交えて解決対応をしております。 ⑤従業者の資格取得状況や実務経験について 支援スキルの高い管理者を置いているか。 ・介護福祉業界に10年程携わり、介護福祉士所有。 有料老人ホーム、訪問介護事業所、定期巡回随時対応型訪問介護事業所、老人介護保険施設の勤務経験あり。 ・管理職として訪問介護事業所サービス提供責任者。 定期巡回随時対応型訪問介護事業所の計画作成責任者。 介護老人保険施設主任として従事経験あり。 ・支援スキルの高いサービス管理責任者を置いているか。 ・栄養士・調理師・サビ管を所持し、3年半の経験。 支援スキルの高い従業者を置いているか。 ・初任者研修・社会福祉主事・教員・介護福祉士・調理師・ 栄養士・介護支援専門員。資格が無く未経験者には有資格者からOJTを受け人材育成に注力しております。	①【評価】 関係機関との連携等を図りながら対応されている。 【要望】 引き続き対応願います。 【助言】 厚労省ホームページに「障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドライン」が掲載されているため、参考にしてみてもどうか。 ②【要望】 事業所内や職員間で支援困難事例の検討を行っていただきたい。 【助言】 支援困難ケースに対応できる職員のスキルアップのために、必要な研修の実施や外部研修への参加等を検討してはどうか。 ③ 【要望】 今後も継続して対応をお願いしたい。 【助言】 夜間に事故が発生した場合、夜間救急では受診できる医療機関に限られることから、医療機関との連携に努めてはどうか。 ④ 【要望】 今後も継続して対応をお願いしたい。 ⑤ 【要望】 外部研修含め、勉強会・研修会等への参加により、支援スキルの研鑽に励んでいただきたい。 【助言】 スーパーバイズが行える体制づくりのために、管理者・サービス管理責任者に対しての研修の義務化、習熟度度合いについて規定を設けてみてはどうか。 ⑥概ね良好である。 引き続き、職員研修を通じてスキルの向上に努めていただきたい。		
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験の利用等のニーズに対応しているか。				短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者		協議会		事業者		協議会	
			① （充実した地域生活を送るために行っている外出・余暇活動等の支援活動の事例についても記入） ・職員が同行し近隣のドラッグストアやコンビニ等での買い物及び支払いや、外気浴を兼ねた近隣の散歩を行っております。 ・外出希望の多いご入居者様には訪問看護の自立支援やヘルパー等を活用しており、外出の機会が昨年よりも増えております。 ② ・空室となった際には以下の対応をしております。 ・緊急案件の受け入れ以外はご入居前に体験入居をしていただいた後、振り返り（担当者会議）を行い、ご本人様・ご家族様・計画相談員・その他関係者と入居後の支援方法のすり合わせを行い、ご入居をしていただいております。 ・昨年に引き続き、グループホーム見学・ショート利用のご希望があった際には随時対応をしております。		① 【要望】 イベントの企画や、家族や地域との交流会の実施等について検討していただきたい。 【助言】 余暇活動の支援・充実のため、社会福祉協議会のボランティアセンターも活用し、外部講師等にも携わってもらうことも検討してみてもどうか。 ② 【評価】 希望に応じたグループホーム見学の実施、体験的利用等のニーズへの対応に努めている。 【要望】 見学会や短期入所の受け入れ等に関する窓口を明確にしていきたい。空室の案内を随時していただきたい。		① ・現在満床のため、短期入所のみの受け入れにはなってしまいますが、男性、女性ともに積極的に 行っております。 ② 急遽ご利用の問い合わせがあった際には空室状況により受入れを行っております。本年度は男性1件、一時的な支援として短期入所の受け入れを行っております。		① 【要望】 施設の利点を活かせる利用者（車椅子・機械浴利用）の受け入れを行っていただきたい。 【助言】 空室情報の開示・発信方法について検討してはどうか。 ② 【要望】 八千代市地域生活支援拠点等事業へ協力をお願いしたい。	
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか				相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者		協議会		事業者		協議会	
			① ・土日においても平日と変わらない人員配置を実施しております。		【評価】 新たに男性職員を雇用し、同性介助の体制確保に努めている。 【要望】 引き続き同性介助の体制確保について努めていただきたい。		【相談支援事業所】 ・相談支援事業所とは連絡が取れる体制をとっております。 ・ご本人様の日頃の様子や、状態の変化等、適宜報告し情報を共有しております。 【他のサービス事業所】 ・日中活動に行かれている方は連絡帳や送迎の際に体調や服薬状況等の共有を行っております。		【要望】 相談支援事業所等との情報共有等が行われているとのことであるため、今後も継続して関係機関との情報共有や連携等を行っていただきたい。	

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

			利用者の主な日中サービスについて ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
12	木更津市（のぞみホーム）	10人	① 全員通所施設を利用しているため、平日の日中をGH内で過ごす利用者は、現在いない。 ② 生活介護9人通所、就労継続支援B型1人通所している。生活介護利用中の方1人は、介護保険のデイケアを週3回利用している。 ③ 10人	概ね良好である。 引き続き、感染症対策、利用者の安全に配慮しながら支援していただきたい。	① 家族との交流の機会として、2周年記念パーティー、BBQパーティー、クリスマス会を実施している。加えて、地区のお祭り（御神輿巡行）の見学、地区公民館文化祭へ参加している。 ② 月1回、ボランティアによる音楽療法で楽器演奏、リズム体操などを実施。実習生の受け入れ用意はあるが、実習生の受け入れ実績は無い。 ③ 実 習 生：0人 ボランティア：0人	概ね良好である。 引き続き、利用者が地域と交流できる機会を確保していただきたい。	①職員研修の実施について 虐待防止研修、身体拘束についての知識習得、オムツ交換等介護技術向上研修、その他に実際の支援の場を通じてのOJTを実施している。	①概ね良好である。 引き続き、職員研修を通じてスキルの向上に努めていただきたい。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験の利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 入居者の誕生月にはレストラン等への外食、季節行事として初詣、七夕、ハロウィンやクリスマスパーティーなどを開催している。月1回土曜日にボランティアによる音楽療法を実施している。その他、土日祝日などは、近隣散歩、ドライブ、買物支援などを行って、余暇活動などを支援している。加えて、地元公民館の文化祭に参加し音楽演奏を披露している。 ② 体験利用の希望者は現在まで0人。定員が充足のため体験利用は実施していない。GHへの入所希望者は、ショートステイを利用している。	概ね良好である。 引き続き、利用者が地域との関わりを持てるよう支援していただきたい。	① 令和4年度は、延べ日数410日短期入所利用。 ② 令和4年度は緊急一時的な利用例はない。令和5年度は、主な介護者である保護者の入院に伴い、65日連続の受入れを実施した。	概ね良好である。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 日中・土日・祝日を含めて、利用者がホームに滞在している時間帯は、職員を1人以上配置して、介護の他、余暇活動などを支援している。	管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに配慮していただきたい。	相談支援事業所とは、モニタリングの際の利用者面談に立ち会い情報交換と個別支援計画への助言等を得ている。通所施設とは、日々連絡ノートによる情報共有。メール・電話などの情報交換の他に、双方が訪問しあい共通認識を持つようにしている。介護保険ケアマネジャーとは電話やメールで情報共有を行い、デイケア施設とは、通所日の連絡ノートによる情報共有を行っている。	概ね良好である。 引き続き、相談支援事業所等との連携に努めていただきたい。		

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

			利用者の主な日中サービスについて ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
13	木更津市（ふわふわ貝渕、ふわふわ桜木新町）	50 人	① 主に平日は、生活介護に通所されるので送り出し準備と受け入れ業務、土日は余暇活動等を行っている。 職員支援業務としては、食事提供、排泄介助、入浴介助、買い物支援、掃除、洗濯、居室の整理、余暇活動、受診同行、服薬管理がある。 ② 生活介護事業所、B型就労に通所している。 生活介護リル木更津貝渕 他 ③ 人	概ね良好である。日中活動として他の事業所も利用できると良い。 引き続き、感染症対策、利用者の安全に配慮しながら支援していただきたい。	① 地域交流については、年に数回、地域のごみ拾い等の行事に参加している。 家族様とは、利用者様について細かな情報共有を行っており、余暇活動や普段の生活での出来事をグループホームにお越しになられた際にお伝えしている。 また、余暇活動での思い出などを形に残すため、ふわふわ新聞の作成やアルバムなどを製作している。お散歩支援の際などにあいさつ運動を通して認知度が上がってきていると思われる。交流会などを今後企画していきたい。 ② 昨年度実施できていないので、実施先を募集したいと考えている。 申し出があれば受け入れしていきたい。 ③ 実 習 生：0人 ボランティア：0人	概ね良好である。 引き続き、利用者が地域と交流できる機会を確保していただきたい。	①職員研修の実施について 虐待防止委員会やケア会議等を実施している。事業所単位での虐待防止委員会の組織と会議運営を実施し、本部の虐待防止委員会にて研修等を行っている。 外部研修として、強度行動障害研修などの受講実績がある。	概ね良好である。 引き続き、職員研修を通じてスキルの向上に努めていただきたい。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 利用者様ごとに外出（お買い物支援）の計画組みやレクリエーション等を実施している。 ② 新規利用者様について緊急ではない限り、極力体験利用をしてもらう。3日～7日間または、複数回の体験を通して入居していただくよう案内をしている。	概ね良好である。 引き続き、利用者が地域との関わりを持てるよう支援していただきたい。	① 地域での利用者様を積極的に受け入れている。 ②	幸町で1件利用あり。 ご家族より、利用者の環境の変化により、家族に対する暴力行為があり困っているとの連絡を受け、緊急に短期利用していただいた。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 日中（平日） 1ユニット2名（管理者含む）夜間従事者1ユニット1～2名 土日 1ユニット2～3名（管理者含む）夜間従事者1ユニット1～2名	管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに配慮していただきたい。	利用者に対する問題があれば、相談員に連絡を取り、会議の開催や支援方法について相談を行っている。他のサービス事業所とは連絡ノートを使用するなどして、その日の利用者の状態などを共有している。	概ね良好である。 引き続き、相談支援事業所等との連携に努めていただきたい。		

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

			利用者の主な日中サービスについて ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
14	木更津市（オーシャンテラス・パークテラス）	110人	① 休日以外に平日でもGHで過ごすことを希望する利用者や、体調不良等で外出の出来ない利用者に対しては、GH内で介護支援を実施し、生活の質の向上を図っている。また、同一敷地内にある芝生広場でのボール遊びやバーベキュー、海岸通りでの散歩散策など、自然を満喫できるようなサービスの提供も行っている。 ② 各GHとも自動車で15分圏内にある生活介護事業所に通所している。 ③ 人	概ね良好である。日中活動として他の事業所も利用できると良い。 引き続き、感染症対策、利用者の安全に配慮しながら支援していただきたい。	① 地区自治会に加入し、お祭りなど地域の行事等に積極的に参加するようにしている。また、当法人の企画するお祭りやクリスマス会などで、利用者ごと家族、地域の方などとの触れ合いの場を提供することとしている。 ② 感染対策を万全にしながら慎重に実施している。 ③ 実 習 生：0人 ボランティア：0人	概ね良好である。 引き続き、利用者が地域と交流できる機会を確保していただきたい。	①職員研修の実施について 年間を通して様々な研修を実施している。 ・虐待防止研修、強度行動障害支援者養成研修、自閉症基礎研修、感染症研修、AED救命研修など	概ね良好である。 引き続き、職員研修を通じてスキルの向上に努めていただきたい。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 車でのドライブや公園内の散歩散策、スーパーマーケットやコンビニ店での買い物支援など、人との触れ合いを大切にした支援を心掛けている。 例として、地域の清掃活動に参加したり、地区自治会に加入して、地域の行事等に積極的に参加している。 ② 体験利用を積極的に受け入れている。 2022.4.1～2023.8.1まで72人を受け入れて、うち30人が本入居となっている。	概ね良好である。 引き続き、利用者が地域との関わりを持てるよう支援していただきたい。	① 希望があれば受け入れることは可能である。現状では、体験利用から本入居へのニーズを優先させている。 ②	概ね良好である。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 国・県の定める基準に従い職員を配置しており、常時支援体制を確保している。	管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに配慮していただきたい。	GHの新規開設を行っており、相談支援事業者等と連携を取りながら、入所希望者を募っている。	概ね良好である。 引き続き、相談支援事業所等との連携に努めていただきたい。		

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

			利用者の主な日中サービスについて ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
15	木更津市（万石の家）	15人	① 通所利用は行わない日中サービス支援型の運営サービスの為、利用者方々に合わせた個別課題・合同作業・ドライブ・施設庭園での運動やバーベキュー、ニーズに合わせて訪問リハビリや訪問入浴を依頼し、買物・整容・整髪・入浴・通院・往診の支援、手作りの食事とおやつ提供等を主に行っている ② 無し ③	概ね良好である。日中活動として他の事業所も利用できると良い。 引き続き、感染症対策、利用者の安全に配慮しながら支援していただきたい。	① 利用者の家族面会・家族との外出や外泊、近隣住民に多目的ホールを開放し、お茶会等でご利用いただいている。 ② 舞踊団の訪問講演にお越しいただくこともあり受け入れ態勢は整っている。 ③ 実 習 生：0人 ボランティア：0人	概ね良好である。 引き続き、利用者が地域と交流できる機会を確保していただきたい。	①・職員研修を実施しているか 年間を通して様々な研修を実施し、職員会議での意見交換・社内アンケートの実施から更なる向上を図っている。	概ね良好である。 引き続き、職員研修を通じてスキルの向上に努めていただきたい。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 通院や買物の同行とドライブや近隣の散歩、外食の中で人との触れ合いや物品選択の様々な感覚に触れていただき、日々の日中活動に何かしらの活力となるよう支援方法を思慮し活動していただいている。 ② 体験前の見学と体験利用を必須としている。体験利用に当たっては、昼食の時間帯等の短時間の体験利用も可	概ね良好である。 引き続き、利用者が地域との関わりを持てるよう支援していただきたい。	① 居室が空いている場合、依頼があれば受け入れており稀に希望者が重複した場合に限って木更津市の方を優先としている。 ② 親御様の緊急入院時や障がい福祉課・相談支援員・ケアマネージャーからの緊急依頼等で受け入れ	概ね良好である。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 国や県の定める基準に従い職員配置を行っており、24時間体制の支援を確保している。	管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに配慮していただきたい。	利用者のニーズに必要かつ向上を図れる物事の活用に定期的な連絡と状況変化の連絡をはじめ連携を取っている。	概ね良好である。 引き続き、相談支援事業所等との連携に努めていただきたい。		

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

			利用者の主な日中サービスについて ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
16	大網白里市（クロワール）	10人	① 食事提供、食事介助、清掃、洗濯、排泄介助、服薬支援、買い物、受診同伴、入浴介助、更衣介助、金銭管理、健康観察等を行っている。 ② 生活介護、就労継続支援B型、通所介護 ③ 10人	障害区分が重度の利用者が多い中、個々のニーズや能力に合わせた支援を行い、充実したサービスを提供している。 居室の立入許可をもらい、利用者への配慮も行っている。	① コロナ感染予防のため例年実施している納涼祭、みんなのまつり（バザー等）はできなかったが、家族との面会を実施できるようにした。また、隣接するグループホーム利用者との交流はレクを通じて行った。 ② コロナ禍により受け入れを見送った。例年は実習生2名程度、ボランティア20名程度を受け入れている。 ③ 実 習 生：0人 ボランティア：0人	家族等との交流が困難な中、工夫してできる範囲での機会が確保されている。	利用者の入退所はなく、高齢化に伴い身体機能の低下は顕著である。機能維持のため、日中活動に定期的に参加を促し生活リズムを整えた。8月、11月に利用者がコロナ感染した際、夜勤者以外に1名の職員が住み込みで対応した。	利用者の重度化・高齢化に対応したサービスが提供されており、適切な支援が行われている。 今後もしきめ細やかな支援を期待する。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 各季節のレクは、コロナ感染防止を実施しながら近隣事業所との交流を深められるよう実施。季節感を味わえるよう工夫して実施した。外出を自粛しているため、毎週スーパーの移動販売を利用して楽しんでもらっている。 ② 空室の見込みがないため体験は実績なし。短期入所に対応	コロナ禍で活動が制限される中、活動できる範囲内で適切な支援に努めている。	① 受け入れている ② コロナ感染予防を実施しながら短期入所の受け入れは継続。定期利用者の他、3名の新規利用者は将来を考えて家族からの希望で利用した。2名の利用者は他事業所の短期入所を利用予定であったが、環境が合わず急遽シエスタを利用。1名は車いすを常時利用していることから他事業所での短期入所が難しくシエスタを利用した。	緊急利用や利用者の状況に応じた利用を受け入れており、評価できる。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 24時間体制で職員を配置。定時巡回、所在確認の他、食事、清掃、洗濯等生活全般の支援を行えるよう体制を整えている。	24時間体制で支援が可能な体制を確保している。	同法人が運営している相談支援事業所にグループホームの利用者も頻繁に訪れ、日中は憩いの場としてあるいは相談に行くこともある。職員同士が常に情報の交換や相談、連絡を取り問題が生じた場合は連携して対処している。	職員同士が常に情報交換を行うことで、問題に対し連携して対応していることは評価できる。		

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

			利用者の主な日中サービスについて ①GH内で主にとどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
17	市原市（第2クローバー学園オハナ館）	20人	①日常生活に必要な支援の他、外部ボランティアによる習字教室、ヨガ教室、アロママッサージ、よつば工房のパンの納品の手伝い、職員によるハンド・フットマッサージ、ネイル、展示用制作活動(本体施設・福祉ショップぶんぶん・オハナ館)、ダンス、おやつ作りを行っている。白金整形外科の訪問リハビリ、永野歯科医院の訪問歯科、永野病院の住診、シューフィッターを利用し、健康的に過ごせるようたくさんの方のかかわりでサービスを提供している。 食事については、隣ジョイントの食材を配送していただき、朝昼夕提供している。個人に合わせ、刻み食（一口大、粗刻み、超刻み）とろみ食、おかゆ食等の食事支援をしている。（全員女性利用者なので、支援員も女性のみ） 食事の提供等について本体施設の管理栄養士と施設長、生活支援員と給食会議や食事作りにも参加してもらい相談にものってもらっている。 ②第2クローバー学園 生活介護利用（よつば工房・農耕班・園芸班・手芸班・運動班の活動及び行事等に参加） ③12人	・職員確保が厳しい中において同性介護支援に努めておられる事、評価する。 ・食事については厳しい体制の中、食材配達による提供（あるいはお弁当提供）し、工夫をされていること評価する。 ・基本とされている日中は住居外の社会資源を利用して入居者の支援を行うことを理解したサービスが提供されていると思われる。	①【家族】相談室、交流スペースでの面会、パソコンによるリモート面会、保護者役員会、電話等、コロナ感染もクラスターにもなったが、毎日の電話連絡で状況や状態を動画や写真で知らせることで、保護者さんから安心できたと聞いている。 【地域】交流スペースの貸し出し(講習会、教室、打合せ) 14回 検査キットを活用し、コロナ禍でも体制を確認し実施している。 ②【実習】教育実習(保育士)、社会福祉士実習、福祉体験 【ボランティア】習字講師、アロマセラピスト、美容師、ヨガインストラクター、楽器演奏、マジックショー、ハンドベル演奏、千羽鶴寄贈 ③実 習 生： 9人 ボランティア：25人	・将来に備えたお泊り練習、負担感が増してきた、入居者の余暇活動や外出、地域交流が多彩で驚いた。重度の身体不自由、医療的ケアのある重度障害児者の受け入れを積極的な受け入れをしていただけると有難い。またこうした優れたノウハウを他施設にも知ってもらう機会があると今後少しずつでも広がっていくのではないかなと思う。 ・コロナ禍における中、実習生やボランティア受け入れに積極的に対応されていた事を評価する。 ・入居者が充実した地域生活を送ることができるよう外出や余暇活動等の社会生活上の支援に努める必要があることを理解し入居者の生活が住居内で完結しないよう、地域との交流につながる取組があると思われる。		
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①納品ドライブ、入居者さんからのリクエストによる誕生会(デザート、ジョイントの特別食、余興)、ドライブスルー、カフェうさぎやデザートデリバリー、飯給駅イルミネーション&カフェうさぎや夜更かし外出、買い物(コンビニ、スーパー、洋品店、ホームセンター、本屋等) SDGsの取り組みとして、福祉ショップぶんぶん、農耕班から、規格外や返品となった野菜や果物を頂き、食事やおやつ作りに活用し、余暇的に楽しみの時間を多く持っている。市原市の「SDGs未来都市いちばら」にも加盟している。 検査キットの活用で、昨年より多くの方ともつながり、活動範囲も広がっている。 ②支援学校卒業後の入居を希望している方で将来入居を希望している方、入浴を希望している方、制作活動を希望している方 7 名	・入居者が充実した地域生活を送ることができるよう地域との交流に繋がる取組があると思われる。	①実施している ②家庭での支援が困難な方(問題行動があり自宅での支援が難しい、保護者が高齢のため自宅での支援が難しい)、緊急性の高い方を優先して利用して頂いている。 コロナ感染が流行しているときの受入れは感染が広まらないように検査したり細心の注意を払い行いました。	・地域との交流を通し、理解を深めていくことは大切。 ・保護者対応は大変な一方で理解を得る事も大切。 ・地域で生活する障害のある方の緊急一時的な支援等の受け入れに対応していると思われる。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①平日、土日とも、日中、夜間を通して10名以上の生活支援員、世話人、看護師を配置、夜勤は各ユニットに1名を配置し2名体制で行っている。コロナでクラスターになったとき、支援職員の確保と、食事作りの職員確保するため、食事を作る方は、支援する方と交流を持たず、活動場所はキッチンのみで誰にも会わずに外回りで対応を工夫し、最後まで食事を提供し乗り切った。	・日中サービスの提供にあたって必要となる人員が確保されていると思われる。	状態の確認と検査キットを活用してモニタリング、定期的な支援会議を実施。 他事業所の方の見学や研修の受入れ、GH連絡協議会の管理者、世話人研修、強行基礎研修に参加している。 第三者評価は受けていませんが、理事会や評議員会の開催場所であること、積極的なボランティアの受け入れなどたくさんの方の眼が入っています。	・勤務体制の厳しい中、職員研修、支援会議の充実など努力また創意工夫をされていると思います。 ・第三者評価は職員の士気を高める為において必要かと思うので、評価を受ける必要があると思う。 ・入居者の意思確認を適切に行うための他事業所等との連携があると思われる。		

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

			利用者の主な日中サービスについて ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
18	市原市（グループホームふわふわ市原菊間）	20人	① （室内）ぬり絵、毎月のカレンダー制作、レク活動（運動会、体操など）、お菓子作り（外出）散歩、ドライブ、買い物 ② ・生活介護 ③ 6人	・基本とされている日中は住居外の社会資源を利用して入居者の支援を行うことを理解したサービスが提供されていると思われる。	① 散歩の支援時や美化活動時に近隣の方々に挨拶をしております。利用者様が挨拶をすると、笑顔で近隣の方々も挨拶を返して頂いております。生活状況や外部利用時の様子について定期的に家族へ報告しています。今後はコロナ等社会情勢の動きを鑑みつつ、地域の方にもご協力いただき防災訓練等で交流を図って行きたいと思っています。 ② ・現在問い合わせはいただいておりますが、今後希望される方がいましたら対応させていただきたいと考えております。 ③ 実 習 生：0人 ボランティア：0人	・地域の方と防災訓練ができるようになると心強い。 ・実習生やボランティアの受け入れを前向きに検討されている点を評価したい。 ・入居者が充実した地域生活を送ることができるよう外出や余暇活動等の社会生活上の支援に努める必要があることを理解し、入居者の生活が住居内で完結しないよう、地域との交流に繋がる取組があると思われる。		
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① ・定期的な外出、職員が付き添い利用者様が希望する場所に買い物を実施。昼食購入。 ・外部受診付き添い、誕生日会、クリスマス会、夏祭り開催など ② ・退院後の生活の場を検討されている方等10人	・入居者が充実した生活を送ることができるよう、地域との交流に繋がる取組があると思われる。	① 受入実績 千葉市1名、市原市2名、大網白里市より1名 ② ・ご家族の入院等、レスパイトなどで対応可能です。 受入実績 市原市より2名、八千代市より1名、千葉市より1名、大網白里市より1名	・短期入所について積極的な受け入れ対応を評価したい。 ・地域で生活する障害のある方の緊急一時的な支援等の受け入れに対応していると思われる。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① ・日中、1ユニット2名の体制を確保、夜勤A棟1ユニット1名、B1ユニット1名の支援体制。9:00～15:00までの時間帯を手厚く体制を整えて、入浴介助、見守り、レクレーションなど職員の役割を決めて支援を行うよう努めています。	・日中サービスの提供にあたって必要となる人員が確保されていると思われる。	・定期的に相談員に連絡を入れて利用者様の近況報告を行っています。課題がある場合などは多職種でカンファレンスを行い課題解決に努めております。また糖尿病や難病等持病のある方もご利用されており、医療機関との連携も密に行っております。	・入居者の意思確認を適切に行うための他職種連携および医療機関との連携があると思われる。		

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

			利用者の主な日中サービスについて ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
19	市原市（磯ヶ谷ポルトジャンス）	20人	① 24時間【相談、健康管理、入浴、排せつ又は食事の介護、その他の日常生活上（個別支援計画に伴う）の支援、レクリエーション（日中活動：手作りやゲーム・園芸や散歩）】の実施。 ② 病院内のデイケアの参加、料理・手作り・運動・学習会 ③ 3人	・日中サービス支援型は、ADLにも介助がいるような重度の方は日中にどこかに行かなくてもよいという事がメリットとしてあるが、そうでない方については事業所内で日中のレクリエーションをしなくてはならないという考えではない。日中の過ごし方が課題であれば相談支援専門員と十分な協議が必要。担当の相談支援専門員が医療デイケアの利用を選択すればよいかと思うが、院内デイケアが日中の過ごし方の第一選択として標記しているのは不適切ではないか。独立した公共の福祉施設であるという建前は大切で「関連機関の医療デイケアへの利用の便宜」程度の表記に抑えておくべきかと思います。 ・基本とされている、日中は住居外の社会資源を利用して入居者の支援を行うことを理解したサービスが提供されていると思われる。	① 電話や手紙等による利用者及び家族との連絡・相談、来所持に面会室での本人及び家族と面談・相談等 ② 新型コロナウイルス感染拡大の為、受け入れ中止。 ③ 実 習 生：0人 ボランティア：0人	・コロナ禍でも受入を検討していくことは必要だと思う。 ・入居者が充実した地域生活を送ることができるよう外出や余暇活動等の社会生活上の支援に努める必要があることを理解し入居者の生活が住居内で完結しないよう、家族との交流に繋がる取組があると思われる。		
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 外出：ショッピングモールやコンビニエンスストア等の買い物支援、季節に応じたドライブ観光、その他個別に対応。余暇活動：公園散策、周囲を散歩、夏祭りやクリスマス会の季節ごとのイベント実施、季節ごとの装飾品工作、自治体で行うイベントの参加、その他個別に対応。 ② 退院後等にGHへの入居を考えている方などに提供、グループホームの体験者等 13人	・体験入所と短期入所の目的には明確な違いがある。方法として福祉施設の入所待ちなども目的で短期入所をロングショートの利用する場合があるが、基本的には共同生活援助の体験入所は別物と考えている。介護包括型GHなどの殆どは短期入所という枠組みを持ち合わせていない。空いている部屋を利用して体験入所という形で「体験入所の機会の提供」を受けて数泊間体験入所をする。（体験入所という支給量を取らずに安価な自費で体験入所をさせてくれるところもある。）日中サービス支援型は別名重度対応型共同生活援助という意味もあり、共同生活援助と施設入所支援の中間的な役割を持っている。制度の立て付け上は、施設入所支援施設であっても日中サービス支援型GHであっても短期入所の枠組みを持っている施設は主として緊急一時保護の意味合いにて利用されることを想定している。空き部屋があれば有効活用は良いと思うが、その双方の目的の違いを受入側も明確にしておく必要がある。「体験の機会の提供」と「入所待機者のロングショートの短期入所並びに緊急一時保護的短期入所」の目的や支給量の違いを確認する必要があると思われる。 ・入居者が充実した地域生活を送ることができるよう、地域との交流に繋がる取組があると思われる。	① 受入している。 ② 受け入れしている。 【市役所や事業所等から連絡、依頼を受け随時対応している。】	・地域で生活する障害のある方の緊急一時的な支援等の受け入れに対応していると思われる。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 通年昼夜を通じて1人以上の世話人及び生活支援員を配置し、ユニットごとに1人以上配置	・日中サービスの提供にあたり必要となる人員の確保がされていると思われる。	相談支援事業所によるモニタリング、定期的な支援会議及び臨時の報告、市役所担当者との個別案件の連絡・相談体制。	・入居者の意思確認を適切に行うための相談支援事業者等との連携があると思われる。		

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

			利用者の主な日中サービスについて ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
20	君津市（ふわふわ君津外箕輪）	15人	① 日中、塗り絵、行事に合わせた飾り物等の制作活動をしています ② 生活介護4人、就労継続支援B型3人 ③ 7人	支援が難しい方を多く受け入れていただいておりますが、外部日中サービスを利用していない入居者に対しても状況に応じてコミュニケーションをとり、利用者のペースに合わせた対応をお願いします。	① ご家族様へ定期的なお電話で近況報告 ② ③ 実 習 生：0人 ボランティア：0人	地域のイベントに積極的に参加するなど、地域住民との交流機会の確保にも努めてください。 また、実習生やボランティアの受け入れについては、人材確保が課題となっている福祉業界において、人材育成の観点から必要かと思われますので、利用者の安全を考慮のうえ受け入れをご検討ください。		
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 週2回のドライブ、週1回の買い物を実施している ② 本入居に向けての体験利用 令和4年度 14人	1 週間に複数回の余暇活動の提供があり、生活の質の向上を図れている点がうかがえます。 体験の場としても、多くの方を受け入れていただきましたが、中長期的なニーズを見据え、本入居を前提としない体験利用も積極的に受け入れていただくよう検討をお願いします。	① 令和4年度 3人受け入れ ② 受け入れを実施している	利用希望者のご家族の突発的な状況の変化に短期入所が必要となることもあり、受け入れの枠があることは重要な地域資源となります。現状、セーフティネットとしての機能が生かされていると思いますので、今後も引き続き、短期入所の受け入れをしていただきたいと思います。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 確保されている	利用者と支援者の人数比から、平日・休日・夜間のいずれも必要な人員は確保されているように思われます。	お電話での近況報告	地域の相談支援事業所や日中の通所先等と常に連携が取れていることは大切であり、評価できます。		

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

			利用者の主な日中サービスについて ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
21	茂原市（ヒュッゲ）	6人	①生活する上で必要となる支援を行っている。（食事提供、健康管理、掃除、洗濯、入浴介助、買い物同行・代行、相談、余暇活動）余暇活動は、散歩や塗り絵等行った。日中外部のサービスを利用する方もいる。 ②生活介護・就労継続支援B型 ③5人	・個々の状態に応じた日中活動を、適切に提供できています。 ・掃除や洗濯などの家事は、利用者の状態に応じて従事者と共同して行う体制ができています。	①家族との外出や面会は随時対応しており、利用者が孤立することのない体制を確保している。地域住民と挨拶を交わす等日常的に交流を図り、良好の関係が築けるよう努力している。 ②城西国際大学から精神保健福祉士、聖徳大学から社会福祉士の実習を受け入れた。 ③実 習 生：3人 ボランティア：0人	・コロナ禍においても家族との外出や面会を継続しており、交流の機会が確保されています。 ・地域住民とは日常的な交流により良好な関係が築かれていることがうかがえます。 ・実習生を積極的に受け入れています。		
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①買い物同行や住居周辺の散歩、住居庭でバーベキューを行ったり、クリスマス、夏祭り等の行事を実施した。 ②身体障害の方1名体験利用したが利用に繋がらなかった。以降満室であった為、体験利用の受け入れはできなかった。	・コロナ禍においても、会場を分散する、オンラインを活用するなどして、外出や余暇活動の支援に努めています。 ・新型コロナウイルス感染症が収束した後は、さらに外出等の支援に努めていただくよう要望します。	①断らずに受け入れるよう努力した。R4.1月～8月まで継続して利用している方がいた。 現在も定期的な利用がある。 ②家族関係が上手くいかず一時的に距離を図った方や次の住居が決まるまでの間の利用を受け入れた。警察署からの緊急一時的な受け入れ相談にもできる限り対応した。	・緊急・一時的な場合にも積極的な受け入れができています。 ・重度の身体障害者を受け入れるために1階の短期入所の居室を2階に変更するなど、柔軟な受け入れ体制ができています。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①日中・土日においても、常時職員の配置。食事提供、入浴支援は毎日行っている。臨時で対応、人員が必要となる場合は、連絡網を利用し対応する職員が確保できる体制を整備している。	・適切な支援体制が確保されています。 ・連絡網を活用し、人員を確保できる体制を整備している点は、特に評価します。	適宜状況を報告・共有することで、相談支援専門員が状態を把握できる体制をとっている。各関係機関の役割を明確にし、必要に応じケア会議を実施している。	・同一法人内にとどまらず、相談支援事業者や他のサービス事業所と連携して、支援ができています。 ・ケア会議により適切な支援体制の構築に努めている様子がうかがえます。		

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

			利用者の主な日中サービスについて ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
22	野田市（ソーシャルインクルーホーム野田上花輪）	10人	① ・学習支援・買い物支援（同行・代行）・運動支援 ・入浴支援 ・季節のイベント ・通院同行（定期受診・臨時受診）・昼食提供 ・訪問サービス利用（リハビリ・散髪・看護・歯科） ② ・あすなろ利用者2名 ・こぶし園利用者2名 ・COCORO利用者2名 ③ 6人	【要望】 個別支援計画を日中活動の事業所とも共有し、支援の充実をお願いする。 今後も継続して通院支援をお願いする。 【助言】 インターネット等、時代のニーズに応じたサービスの提供も検討してはいかがか。 【評価】 自社送迎があることについて、日中活動に積極的な姿勢を評価する。	① ご家族がいつでも来訪して頂けるように常に連絡を取り近状報告を行っております。地域との関わりについては近所の商店まで散歩がてら行きお店の人と話をし買物をして帰るという関係性作りをしております。令和5年度においてはボランティアの計画も考案中です。 ② ③ 実 習 生：0人 ボランティア：0人	【要望】 学生やボランティアの受け入れは、感染対策を考慮してから受け入れるように。 【助言】 近隣の学校や、地域の行事に積極的に参加して、地域との繋がりができると良い。	①設立目的・運営方針 【設立目的】 弊社はこれまで、介護包括型でGH運営を行って参りましたが、より緊急性の高い利用者様、より重度の利用者様の受け入れに関して職員配置と人件費の問題があり一歩進んだ支援に関して踏み込めない状況でありました。日中サービス支援型で事業運営させて頂く事で今まで受け入れが難しかった日中活動先がない方、日中活動が困難な方の受け入れを進めて参ります。 【運営方針】 住まいで困ってる障がい者が0の社会を創る。障がい者の住まいのインフラとなる。障がい者が日本のどこでも自立を目指せる環境を創る。どこでも同じという安心のソーシャルインクルー品質を確立する。 ②職員の研修体制 精神障がいのある人の支援に関する研修 3人 虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修 13人 食中毒・感染症に関する研修 13人 緊急対応に関する研修 13人 障がい特性に関する研修 13人 ③野田市援護者数 野田市援護者数 3人 （男性 2人・女性 1人） 市外援護者数（県内）2人 （男性 1 人・女性 1 人） 市外援護者数（県外）3人（男性 1 人・女性 2 人） ④利用者の詳細 【非公表】	①【要望】 一人一人が生き生きと生活を送れる施設を目指して欲しい。 今後も積極的に緊急性の高い利用者及び重度の利用者の受け入れをお願いする。 ②【要望】 強度行動障害、医療的ケアにも対応できる体制を整えておくためにも、研修は受講しておく必要がある。 感染症対策マニュアルについても、全職員に周知したほうが良い。 【助言】 研修内容は毎年同じにならないように検討したほうが良い。 ④【要望】 年齢の離れている若い利用者に対しても適切な支援をお願いする。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験の利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①職員が同行し近所のドラッグストアやコンビニ書店等での買物及び支払い等、利用者の能力に応じて支援しております。また近隣の散歩や車でスポーツ公園に行ったり図書館や福祉喫茶、市役所内のあすなろパン購入などみんなで楽しめる様なイベントなども毎月計画しており、今後まめバスを利用し清水公園等の利用も考えております。 ②ご自宅でご家族と生活されていた方がご家族の高齢化に伴い将来的にGH入居を見据えて体験入所される、長期入院されていた方が地域での生活を希望して体験される。 2人	利用者の能力に応じた支援のみではなく、利用者のニーズに応えられる支援体制を整えてほしい。	①建物の構造上、女性の短期入所のみとなっておりますが、積極的に見学なども行っております。 ②緊急的な受け入れは現在のところありませんがご家族の状況や御本人を取り巻く環境の変化による一時的な受け入れには対応出来ればと考えております。	【要望】 引き続き緊急時の短期入所の受け入れをお願いしたい。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			①日中、土日に関しても常に3の人員配置を行っております。 緊急時にもすぐに職員が対応できるよう連絡体制を整えております。	緊急時にも対応できる体制は評価できる。	相談支援事業所とは常に連絡を取り合っており情報共有を行っております。ホームの方からご本人の状態の変化なども細かく事業所に提供し、また相談などもさせて頂いています。	【評価】 事業所との情報共有、連携が図れていることは評価できる。		

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

			利用者の主な日中サービスについて ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
23	野田市（ソーシャルインクルーホーム野田尾崎）	20人	① ・通院介助（定期受診・緊急受診） ・買い物支援（同行・代行） ・運動支援（廊下往復、ストレッチ、ラジオ体操） ・余暇を過ごす資材の提供（学習プリント・塗り絵等） ・オセロ、将棋対戦 ・話し相手 ② 内訳：あすなろ2人　こぶし園2人　ありがとの花2人　ほのか2人　えーる2人　みやび1人　ハナファイ1人 ※2事業所利用している入居者様がいる為利用者人数と異なります。 ③ 1 1人	【要望】 個別支援計画を日中活動の事業所とも共有し、支援の充実をお願いします。 今後も継続して通院支援をお願いします。 【助言】 インターネット等、時代のニーズに応じたサービスの提供も検討してはいかがか。 【評価】 自社送迎があることについて、日中活動に積極的な姿勢を評価する。	① 地域の方々との交流は実現していませんがご家族様の来訪は積極的に受け入れています。遠方や高齢が理由で来訪が難しいご家族様には定期的に電話やメール、手紙などで様子をご報告しています。 ② 社協や特別支援学校等にお声掛けしながら積極的に受け入れていきたいと考えています。 ③ 実 習 生：0人 ボランティア：0人	近隣の学校や、地域の行事に積極的に参加して、地域との繋がりができると良い。 来訪が難しいご家族にはテレビ電話等で顔が見えるようにした方が良い。	①設立目的・運営方針 【設立目的】 弊社はこれまで介護包括型でGH運営を行ってまいりましたが、より緊急性の高い利用者様・より重度の利用者様の受け入れに関して職員配置と人件費の問題があり、一歩進んだ問題に支援に対して踏み込めない状況でありました。日中サービス支援型で事業運営させていただくことで今まで受け入れが難しかった日中活動先がない方、日中活動が困難な方の受け入れを進めてまいります。 【運営方針】 住まいで困っている障がい者が「0」の社会を創る。 障害者の住まいのインフラとなる。 障害者が日本のどこでも自立を目指す環境を創る。 どこでも同じという安心のソーシャルインクルー品質を確立する。 ②職員の研修体制 強度行動障がいのある人の支援に関する研修 外部 3人 精神障がいのある人の支援に関する研修 外部 1人 その他重度障がいのある人の支援に関する研修 外部 1人 虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修 2 6人 食中毒・感染症に関する研修 26人 緊急対応に関する研修 2 6人 接遇マナーに関する研修 2 6人 ③野田市援護者数 【非公表】 野田市援護者数7人 （男性 2人・女性 5人） 市外援護者数（県内）3人 （男性 2人・女性 1人） 市外援護者数（県外）7人 （男性 6人・女性 1人） ④利用者の詳細 【非公表】	①【要望】 一人一人が生き生きと生活を送れる施設を目指して欲しい。 今後も積極的に緊急性の高い利用者及び重度の利用者の受け入れをお願いします。 ②【要望】 強度行動障害、医療的ケアにも対応できる体制を整えておくためにも、研修は受講しておく必要がある。 感染症対策マニュアルについても、全職員に周知したほうが良い。 【助言】 研修内容は毎年同じにならないように検討したほうが良い。 ③【要望】 市外から受け入れて、市内の方の受け入れが難しいこととならないようにしていただきたい。 ④【要望】 65歳を超える方が複数名いらっしゃるので、高齢者支援課などとも連携した支援を実施し、ADL維持・向上に努めていただきたい。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験の利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 図書館等の社会資源を利用を計画しています。移動支援事業所の契約締結をサポートし映画や買い物を楽しんでいただいています。4/9の選挙は社会見学として投票に参加しました。 ② 将来GHでの生活を考えていらっしゃる方が無償体験入所をされています。 8人	【評価】 移動支援事業所との契約締結は、利用者の生活の幅を広げるためにも良いこと。	① 野田市2名 坂東市1名 板橋区1名（男女各1名ずつ受け入れ可） ② 他県GHの本入居が決まるまでの一時的な長期（1か月程）の受け入れを行いました。	引き続き緊急時の短期入所の受け入れをお願いしたい。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 日中・土日に関しても、日勤4名・夜勤4名の人員配置を実施していきます。	【要望】 緊急時にも対応できるように余裕を持った人員配置をお願いしたい。	訪問診療・訪問歯科・訪問看護ステーションとの契約。 通所、往診での受診後の計画相談事業所との情報共有。 ホーム内で変化があった時には担当者に必ず報告、また困った事等の相談にも乗っていただいています。 日中通所先と連絡ノートでの健康・精神状態の共有、細かな説明の必要な場合は電話で報告を行っています。	【評価】 事業所との情報共有、連携が図れていることは評価できる。		

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

			利用者の主な日中サービスについて ①6H内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
24	野田市（グループホームふわふわ野田上花輪）	15人	① 貼り絵などの創作活動、折り紙、塗り絵、映画鑑賞、ユーチューブを見ながらの体操、買い物、ドライブ、公園等散策、散歩等 ② 生活介護、就労継続支援B型 ③ 6人	【要望】 個別支援計画を日中活動の事業所とも共有し、支援の充実をお願いする。 【評価】 利用者のニーズに応じて活動していることは良い。	① 現在は交流はありません。今後、家族会や地域交流を図りたいと思います。 ② ③ 実 習 生：0人 ボランティア：0人	【要望】 具体的な計画の作成をお願いしたい。	①設立目的・運営方針 【設立目的】・日中サービス支援型は地域での拠点整備という課題をクリアできる必要な社会資源であり、拠点の理解を持ち日中サービス支援型として地域での重要な役割を担う社会資源となり専門性の高いサービス、地域の参考ともいえる事業運営をすることが目的である。 【運営方針】 ・地域にとって必要な社会資源となる ・地域で困っていることは積極的に解決したい ・住み慣れた環境で終末期まで支援出来る環境を作る ・体験、短期入所を通じ幅広い方にグループホームの暮らしを知って頂く ②職員の研修体制 強度行動障がいのある人の支援に関する研修 10人 精神障がいのある人の支援に関する研修 15人 医療的ケアのある人の支援に関する研修 15人 その他重度障がいのある人の支援に関する研修 15人 虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修 15人 ※その他、法人で実施した研修 10人 ※内部研修：入職より半年間の間に、新入職員に対し障害特性や病気にに関する研修をプログラムし、管理者が実施しています。又、昨年11月より強度行動障害の利用者様が入居した為、強度行動障害のある方への研修を重点的に実施し支援方法はロープレとOJTをしています。又、虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修については毎日行っております。 ③野田市援護者数 野田市援護者数 5人 （男性2人・女性 3人） 市外援護者数（県内）8人 （男性 2人・女性 5人） 市外援護者数（県外）1人 （男性 人・女性 1人） ④利用者の詳細 【非公表】	①【要望】 住み慣れた環境ということで、今後も継続して野田市の方の受け入れを多くお願いしたい。 ②【要望】 感染症、食中毒の研修も実施していただきたい。感染対策マニュアルの整備、全職員の周知を実施していただきたい。 充実した研修を継続していただきたい。 ③【要望】 市内の方を積極的に受け入れていただきたい。 ④【要望】 土日帰宅できない方が多いようなので、余暇活動を充実できるように支援をお願いしたい。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験の利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 新型コロナウイルス感染防止の為、混雑する時間帯や曜日などを避けながら、買い物、公園散策、博物館見学、散歩などを実施している ② 退院後の住まい探しご家族の高齢化により同居が難しい等の要因 6人	【評価】 感染対策を行いながら、外出支援を行っていることは評価できる。	① 毎月1名～2名の受け入れを行っております。 ② 退院後の住まいが見つかるまでの受け入れ等	【評価】 今後も継続して受け入れをお願いしたい。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 日中 日勤8:30～17:30 A棟1ユニット3名配置、 B棟1ユニット1名配置 夜間 夜間17:00～翌9:00 A棟1ユニット2名配置 B棟1ユニット1名配置	【要望】 施設はハザードマップ上、浸水5m地区に所在し、災害時のリスクが大きいため、マニュアル等を用意し備えていただきたい。また、今の体制であれば避難用の車（6人乗り以上）が必要と思われる。	利用者様の状況報告などの意見交換を行っている。 利用者様の状況変化により電話連絡や担当者会議、定期的な空室状況の連絡等。	【評価】 事業所との情報共有、連携が図れていることは評価できる。		

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

			利用者の主な日中サービスについて ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
25	野田市（グループホームふわふわ野田尾崎）	10人	① ホームに残る利用者様は、個別支援計画に位置付けた自立支援でモップ掛けなどの清掃や、洗濯物を一緒にたたみ片付けを行う。メモ帳づくりや掲示物を作ったりの軽作業など。外出支援で、お散歩やお買い物支援など職員同伴のもと行います。 ② 就労継続支援B型や作業所、生活介護 ③ 7人	【要望】 個別支援計画を日中活動の事業所とも共有し、支援の充実をお願いする。 利用者のニーズに応じた余暇活動も検討してほしい。 【助言】 区分5、6の利用者が多いので大変かと思うが、TECCHプログラム等を使ってコミュニケーション、本人の意思の汲み取りなど、包括的な支援も検討してはいかがか。	① ご家族にはご希望があれば来所していただいたり外泊にも応じ、また時には電話で様子をお伝えしたり毎月その月の様子を書いた家庭通信もお送りしています。 ② グループホーム等連絡協議会の方に希望をしたこともありましたが今まで事例がないとのことで実現できていません。事例が作れるよう機会があれば方法をうかがいたいと思っています。 ③ 実 習 生：0人 ボランティア：0人	【要望】 地域住民との交流についても検討していただきたい。	①設立目的・運営方針 【設立目的】 ・日中サービス支援型は地域での拠点整備という課題をクリアできる必要な社会資源であり、拠点の理解を持ち日中サービス支援型として地域での重要な役割を担う社会資源となり専門性の高いサービス、地域の参考ともいえる事業運営をすることが目的である。 【運営方針】・地域にとって必要な社会資源となる。 ・地域で困っていることは積極的に解決したい。 ・住み慣れた環境で終末期まで支援できる環境を作る。 ・体験、短期入所を通じ幅広い方にグループホームの暮らしを知っていただく。 住み慣れた地域で、障害のある方でも家庭的な雰囲気の中自分らしく自立した生活を送って頂きたい。 ②職員の研修体制 強度行動障がいのある人の支援に関する研修 12人 精神障がいのある人の支援に関する研修 12人 医療的ケアのある人の支援に関する研修 12人 その他重度障がいのある人の支援に関する研修 12人 虐待防止・差別解消（権利擁護）に関する研修 12人 ③野田市援護者数 【非公表】 野田市援護者数 7人 （男性 7人・女性 人） 市外援護者数（県内）1人 （男性 1人・女性 人） 市外援護者数（県外）3人 （男性 3人・女性 人） ④利用者の詳細 【非公表】	①【要望】 住み慣れた環境ということで、今後も継続して野田市の方の受け入れを多くお願いしたい。 ②【要望】 感染症、食中毒の研修も実施していただきたい。感染対策マニュアルの整備、全職員の周知を実施していただきたい。 ③【要望】 今後も野田市からの受け入れを多くお願いしたい。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験の利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 室内での活動にあまり興味を示さないの、なるべく近所の散策やスーパーマーケットへの買い物に同行していただいたり 公園に行くなど時間の外出支援を行っています。 ② 現在A棟が満床のため泊りでの体験は出来ませんが、増員の計画のもとアナウンスを行っております。 5名	【助言】 公民館や子ども館の体育室、市立体育館などの利用も検討してみてはいかがか。	① 現在満床のため受け入れできていませんが、空きができ次第受け入れたいと思っています。増員後、継続的に提供していきたい。 ② 敷地内にはグループホームとは別に単独型用の短期入所（別棟）が5床あるのでそちらも含めて受け入れ態勢が整い次第対応いたします。	【要望】 職員増員計画による新棟開所予定が数回延期になっている。速やかな開所を希望する。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 日中 日勤8：30～17：30 1ユニット2名～3名（管理者以外） 夜間17：00～翌9：00 1ユニット2名体制を確保している。	【要望】 緊急時にも対応できるように余裕を持った人員配置をお願いしたい。	相談支援事業所にも他のサービス事業所にも、些細なことでも相談したり報告したり密に連携しています。例えば、なかなか通所に行きたがらない利用者様には皆でどうしたらスムーズに行かれることができるのか話し合い その結果7割ほどですが行くことができるようになりました。	【評価】 連携が取れていることは評価できる。継続できるようにお願いしたい。		

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について

			利用者の主な日中サービスについて ①GH内で主にどのような日中サービスを提供しているか。 ②外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について ③外部の日中活動サービスの利用者人数： 人		地域に開かれた運営について ①家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。 ②実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。 ③実 習 生： 人ボランティア： 人		その他	
	市町村	定員	事業者	協議会	事業者	協議会	事業者	協議会
26	四街道市（ふわふわ四街道）	20人	① ・安否・所在確認 ・食事提供（服薬確認含む） ・排泄、入浴支援 ・相談支援 ② 生活介護（リル四街道13名、はちみつ3名） ③ 16人	支援・サービスの内容に改善の余地がある。 利用する方の個々の実態に応じつつ、要望を取り入れ、充実した支援・サービスの提供に努められたい。 標準的な利用人数及び内容である。 概ね適切だが、更なる利用人数の拡充と内容の充実に努められたい。	① ご本人、ご家族よりの外出、外泊意向の調整と準備。 その際に、普段の様子をお伝えしている。 ホーム周辺の散歩などの際に、挨拶の励行 ② ③ 実 習 生：0人 ボランティア：0人	①交流の機会の確保に改善の余地がある。 ・主変地域や外部施設のイベントについて、積極的に参加し、交流を深めるように検討願いたい。 ・近隣住民の理解を得るため、地元説明会を検討願いたい。 ②実習生やボランティアの受け入れについて不足がある、または改善を要する。 ・積極的に受け入れができる体制を整え、社会福祉協議会や看護学生、福祉系学校への働きかけに努められたい。	①利用者の権利擁護について 入職より6か月間、接遇、虐待防止、障害特性、危機管理等について個々に研修を行っている。 また、事業所内虐待防止委員会の組織編制を行い、虐待防止、障害特性の理解、急変時の対処、実例の情報共有と検討等行っている。 ②利用者の健康管理、医療との連携 ・朝夕のバイタルチェック ・往診時Drにお伝えする日々の変化のとりまとめ （摂食状況、服薬状況、排泄状況、情緒面） 職員の質向上等に関して実施した事例 上記項目9に記載	①（個人情報保護） 利用者の個人情報保護が標準的になされている。 （権利擁護）標準的な権利侵害の予防・対応に努められたい。 ・概ね適切だが、より充実した権利侵害の予防・対応に努められたい。 ・虐待防止の観点から、職員のメンタルケアに十分配慮して、職員教育にしっかり努められたい。 ②利用者の健康管理、医療との連携、職員の質向上等が標準的になされている。 ・利用者の日頃の様子を観察し、本部と密に連携を取りながら、より良い職場環境を構築する事に努められたい。 ・医療機関と連携しながら、積極的な利用者の健康管理等により努められたい。 ・職員の人員配置や支援能力のスキルアップを始めとした支援体制を整備し、且つ現場経験を多く積みせ、徐々に重度の方を受け入れ出来るよう努められたい。
			利用者に対する地域生活の支援について ①利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。 ②体験的利用等のニーズに対応しているか。		短期入所の併設について ①地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか ②緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 外出：季節を感じていただくための近隣散策（散歩やドライブ） 余暇支援：軽度な運動の他。 ② 前年度来 3名実施 ・他のGHでのアンマッチング対応 ・ご家族の負担軽減と社会生活体験	①外出・余暇活動の等の支援活動に内容に改善の余地がある。 ・適正な外出回数を確保し、行動範囲を広げつつ、外出場所についても工夫するよう、効果的な外出支援に努められたい。 ・利用する方やその家族の要望を取り入れた余暇支援に努められたい。 ②体験的利用の人数または内容に改善の余地がある。 ・早急に職員配置体制を整え、体験利用の機会が再開出来るよう検討願いたい。	① 新規問い合わせ対応：2名 ② 上記2名の利用	①障害のある人の短期入所状況に改善の余地がある。 職員の能力向上や適正な人員配置等の受け入れ体制を整備し、地域のニーズに応えられるよう、より積極的な短期入所受け入れに努められたい。 ②標準的な緊急・一時的な支援等の受け入れがなされている。 利用希望時にいつでも応じることが出来る様、職員の能力向上や人員配置などの受け入れ体制を整備し、積極的な受け入れに努められたい。		
			支援体制の確保について ①日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか		相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について			
			事業者	協議会	事業者	協議会		
			① 日中：ユニット毎職員1名配置（管理者、サビ管含まず） 夜間職員1～2名 土日：ユニット毎職員1名配置（管理者、サビ管含まず） 夜間職員1～2名	①支援体制の確保に改善の余地がある。 職員の能力向上や適正な人員配置等を実施し、常時の支援体制の確保に努められたい。	定期的なモニタリングの他に、体調変化や通院時の状況報告。 また、支給サービスの変更が懸念される状況の相談や、事業所内での感染症に備える情報共有を行っている。	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携が標準的に図られている。 より積極的な相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を図られたい。		